

令和6年度 DMO調査分析業務

(1) 満足度、観光消費等
マーケティングデータ収集及び分析

③ 八幡平市の観光事業者／市民調査
(添付資料3)

2025/03/26
株式会社八幡平DMO
取締役 柴田 亮

- 調査目的
 - 八幡平市民の観光に関する意識や意見を収集し、また、観光に関する市民参加意識を確認する
 - 併せて市民からメーリングリストの登録者も募る
- 設問数：20問
- 調査期間：令和7年2月1日～令和7年3月16日
- 観光事業者を含む八幡平市民
- アンケート手法：インターネットによるアンケート調査
- プロモーション手法：八幡平市のLINEによる告知、
岩手日報折り込み広告
回答者から抽選で10名に市産品のプレゼントを実施
- 調査票配布数：1000枚（折り込み広告）
- 収集サンプル数：255名

Q0 現在八幡平市にお住まいですか？

- (1) 八幡平市に住んでいる
- (2) 八幡平市に住んでいない

Q1_1 八幡平市の観光地のイメージについてお伺いします。

以下の選択肢で最も近いものをお選びください

- (1) 観光地というイメージはない
- (2) 地元、岩手県、近県からお客様が多いローカルな観光地
- (3) 首都圏や関西からもお客様が訪れる全国的な観光地
- (4) 海外からのインバウンドも訪れる国際的な観光地
- (5) その他

FA よろしければ、その他について具体的に教えてください。

Q2_1 「八幡平の観光」と聞いて最も強く思い浮かぶ

観光資源について一つ選んでください

- (1) 山、登山、高山植物
- (2) 温泉
- (3) スキー場、雪、冬景色
- (4) 紅葉
- (5) 雪と桜の回廊
- (6) ドラゴンアイ
- (7) 焼走り熔岩流
- (8) 国立公園
- (9) 地熱
- (10) 滝（七滝（氷瀑）、不動の滝）
- (11) 安比塗、地熱染などのクラフト
- (12) ふうせつ花、麴屋もとみや（Shimono528）、

八幡平サーモン、八幡平マッシュルーム等の食材

(13) アミューズメント施設

（クルマアソビアドベンチャーフィールド安比、3Sビレッジ）

- (14) 松尾鉱山
- (15) 道の駅
- (16) その他
- (17) 特に思いつかない

FA よろしければ、その他について具体的に教えてください。

Q3 あなた自身が八幡平で楽しまっているものがあれば

すべて選択してください。（複数回答）

- [1] 温泉
- [2] 食事、喫茶
- [3] 登山・ハイキング
- [4] ドライブ
- [5] スキー・スノーボード
- [6] スノーシュー
- [7] サイクリング
- [8] ゴルフ
- [9] キャンプ・バーベキュー
- [10] 釣り
- [11] 工作、工芸、クラフト、ものづくり体験
- [12] 観光農園、農業体験
- [13] 観光名所、景勝地訪問
- [14] その他観光施設利用
- [15] その他
- [16] 八幡平で観光やレクリエーションはしない

FA よろしければ、その他について具体的に教えてください。 3

Q4_1 八幡平市に多くの観光客が訪れることをどのように思いますか？

- (1) とても良いことだと思う
- (2) 良いことだと思う
- (3) どちらかというが良いことだと思う
- (4) どちらとも言えない
- (5) あまり良いと思わない
- (6) 良いと思わない
- (7) 全く良いと思わない

- (7) 感染症が広がる可能性がある
- (8) 地価や物価が上がってしまう
- (9) 今の八幡平に観光客が来てもがっかりされる
- (10) 観光客が増えても町が潤うような仕組みや体制になっていない
- (11) 観光客に市の税金が使われるのはおかしい
- (12) その他

FA よろしければ、その他について具体的に教えて下さい。

Q4_2a 前問でそのように思われた理由について、最も当てはまるものをお選びください。(とても良い～どちらかというが良いを選んだ人に自動表示)

- (1) 自分の住む街を知ってもらい楽しんでもらえることはよいこと
- (2) 交流や触れ合いが増えて街が活性化する
- (3) 観光が経済効果、産業活性化につながり、税収の増加につながる
- (4) 雇用の場が確保される
- (5) 文化や伝統などの保存につながる
- (6) 自然保護やSDG s が進む
- (7) 交通・買い物・生活インフラが整備される
- (8) その他

Q5_1 市外のご友人等に八幡平市への観光をお勧めしたいですか？

10は「ぜひ勧めたい」、0は「全く勧めたくない」として
お勧め度を教えて下さいでお答えください。

- (1) 10 ぜひ勧めたい
- (2) 9
- (3) 8
- (4) 7
- (5) 6
- (6) 5
- (7) 4
- (8) 3
- (9) 2
- (10) 1
- (11) 0 全く勧めない

Q4_2b 前問でそのように思われた理由について、最も当てはまるものをお選びください。(あまり良いとおもわない以下を選択した人に自動表示)

- (1) 地域の観光と自分の生活は全く関係ない
- (2) 知らない人が増えるのは嫌だ
- (3) 観光客のマナーが悪い、うるさい、目につく
- (4) 自然環境が破壊される、環境によくない
- (5) 道路が渋滞する
- (6) 治安が悪くなりそう

Q5_2a 八幡平市の観光の良いところ、おすすめできる点は何ですか？

最もよいと思うものを一つ選んでください

- (1) 自然、景観の良さ
- (2) スキーや登山などのアクティビティの楽しさ
- (3) 温泉の良さ
- (4) 宿泊施設や観光施設の質
- (5) 食事のおいしさ
- (6) おもてなし、人々との交流
- (7) ゆったりと落ち着いて過ごせる、混雑していない
- (8) 子供や家族が楽しめる
- (9) 学べる、成長ができる
- (10) アクセスが意外とよい
- (11) 住みやすいまち、誇れるまち
- (12) 地熱など自然エネルギーが豊かでサステナブル
- (13) その他

FA よろしければ、その他について具体的に教えてください

Q5_2b 八幡平市の観光について市外のご友人等にお勧めできない点、

課題などはなんでしょうか？最も大きい課題を一つ選んでください

- (1) 観光地として魅力に乏しい
- (2) 観光施設の老朽化や内容が不十分
- (3) 飲食店、喫茶店、お土産もの屋などが充実していない
- (4) 観光事業者のおもてなしや受け入れ態勢が不十分
- (5) 景観美化の取り組みが不十分で寂れて見える
- (6) 交通が不便だったり街のインフラが廃れている
- (7) 市民が観光に関心なく、市民主体のおもてなしができていない
- (8) 情報発信やPRが不十分

- (9) 観光地として発展する勢いが無い。リーダーが不在
- (10) 行政、民間の観光への投資や改善の努力が不十分
- (11) 八幡平に観光客が増えてほしくない
- (12) その他
- (13) 特になし

FA その他について具体的に教えてください

Q6 八幡平市では市民みんなで“おもてなし”をする観光地を目指しています。

住民として観光に何かしらの形で関わって頂くことは可能でしょうか？

- (1) 興味はない
- (2) 観光客に挨拶するなど親切に接したい
- (3) 知人、友人、SNSなどで八幡平市の観光をお伝えしたい、宣伝したい
- (4) 積極的に地元の観光施設や宿など利用して応援したい
- (5) ボランティアガイドなど市民として観光客を案内したりおもてなし
- (6) 既にボランティアガイドや観光客のおもてなしをしている
- (7) 職業として観光に携わっている
- (8) その他

FA よろしければ、その他について具体的に教えてください

Q7_1 八幡平市の観光行政、観光地域づくりについての評価を教えてください

- (1) 大変評価している
- (2) 評価している
- (3) どちらかという人评价している
- (4) どちらとも言えない
- (5) どちらかという人评价していない
- (6) 評価していない
- (7) 全く評価していない

Q7_2 前問で回答した理由や具体的な意見などがあれば自由に記載ください

Q7_3 今後、八幡平の観光行政、観光地域づくりとして強く力を入れていくべき分野は何だと思いますか？

- [1] 自然環境や観光資源の保全（自然景観、温泉、文化など）
- [2] 公共インフラ整備（道路、公共交通、駐車場など）
- [3] 民間観光施設、宿泊施設の投資促進、誘致
- [4] 外国人観光客等の受入環境整備（多言語案内）
- [5] 観光を担う人材や後継者の確保、育成、人的投資
- [6] 観光推進組織の強化、観光事業者の連携促進
- [7] 情報発信（SNS、ウェブサイト、PR動画など）
- [8] 観光戦略、ブランディング、マーケティングの構築
- [9] 誘客キャンペーン・イベントの充実
- [10] 地域住民との交流促進（ワークショップ、体験プログラムなど）
- [11] その他
- [12] 観光に注力する必要はない

FA よろしければ、その他について具体的に教えてください

Q8_1 八幡平市で暮らしていることに誇り、生きがい、充実感を感じていますか？

- (1) 強く感じている
- (2) 感じている
- (3) どちらかというと感じている
- (4) どちらとも言えない
- (5) どちらかというと感じていない
- (6) 感じていない
- (7) 全く感じていない

Q8_2 前問の回答について、どうしてそう思うのか、理由について具体的に教えてください。

DEM1 ご回答いただいた方の性別を教えてください

- (1) 男性
- (2) 女性
- (3) 答えたくない

DEM2 ご回答頂けた方の年齢を教えてください

- (1) 10代
- (2) 20代
- (3) 30代
- (4) 40代
- (5) 50代
- (6) 60代
- (7) 70代
- (8) 80代以上

DEM3 ご回答頂けた方のお仕事について教えてください

- (1) 学生（高校生以下）
- (2) 学生（専門・大学生）
- (3) 農業、林業、漁業
- (4) 公務員、教職員
- (5) 医療従事者
- (6) 自営業（観光関係）
- (7) 自営業（観光以外）
- (8) 会社員・契約社員（観光関係）
- (9) 会社員・契約社員（観光以外）
- (10) パート・アルバイト（観光関係）
- (11) パート・アルバイト（観光以外）
- (12) 専業主婦・主夫
- (13) 無職
- (14) その他

DEM4 八幡平にお住まいになってどのくらいでしょうか？

- (1) 1年未満
- (2) 2～4年
- (3) 5年～9年
- (4) 10年～19年
- (5) 20年以上

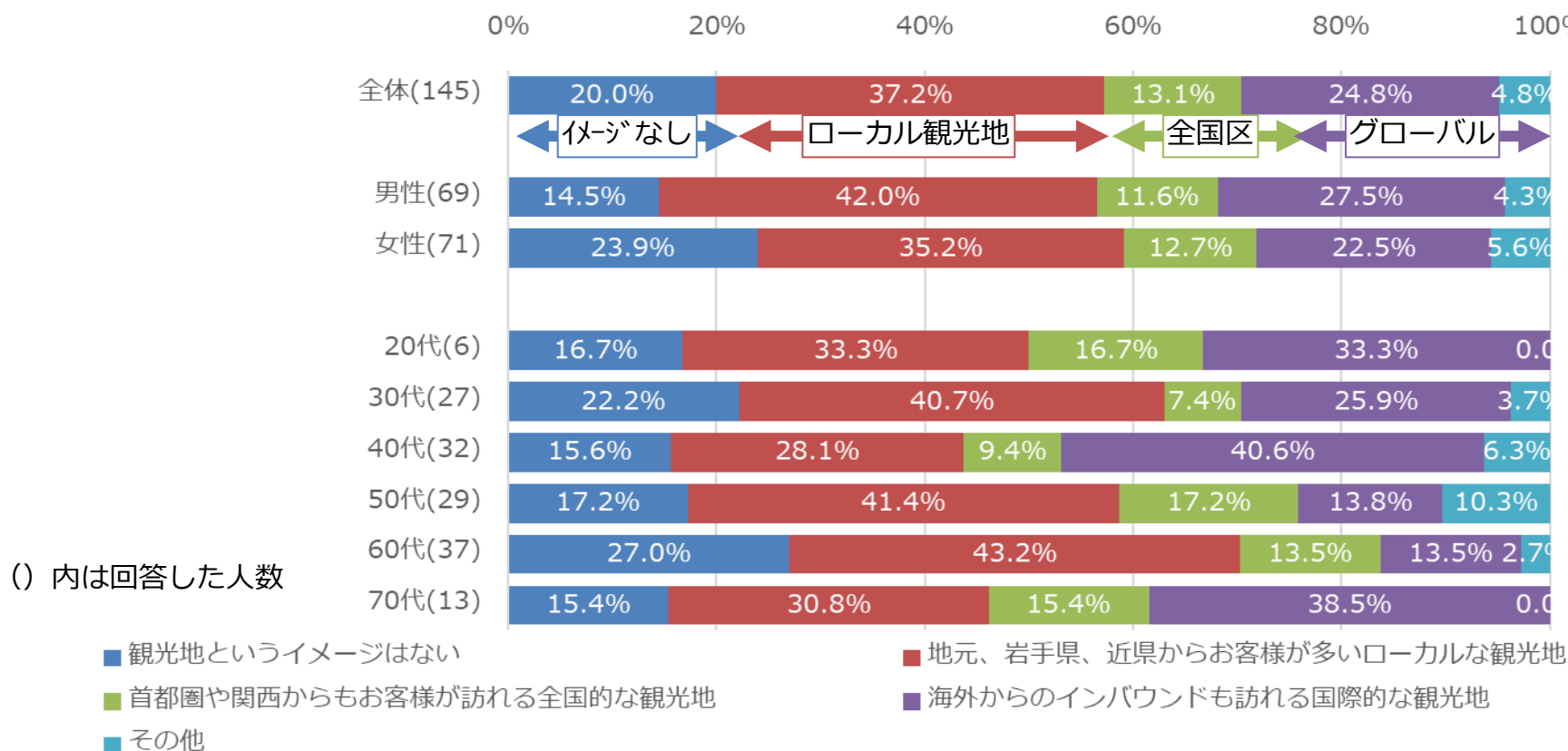
DEM5 コロナ禍前までは、年間でどのくらい旅行をしていましたか？

- (1) 年12回以上
- (2) 年7～11回
- (3) 年5～6回
- (4) 年3～4回
- (5) 年1～2回
- (6) 2～3年に1回
- (7) 5年に1回程度
- (8) しない

1. 八幡平市の観光イメージ (1) 性別、年齢別

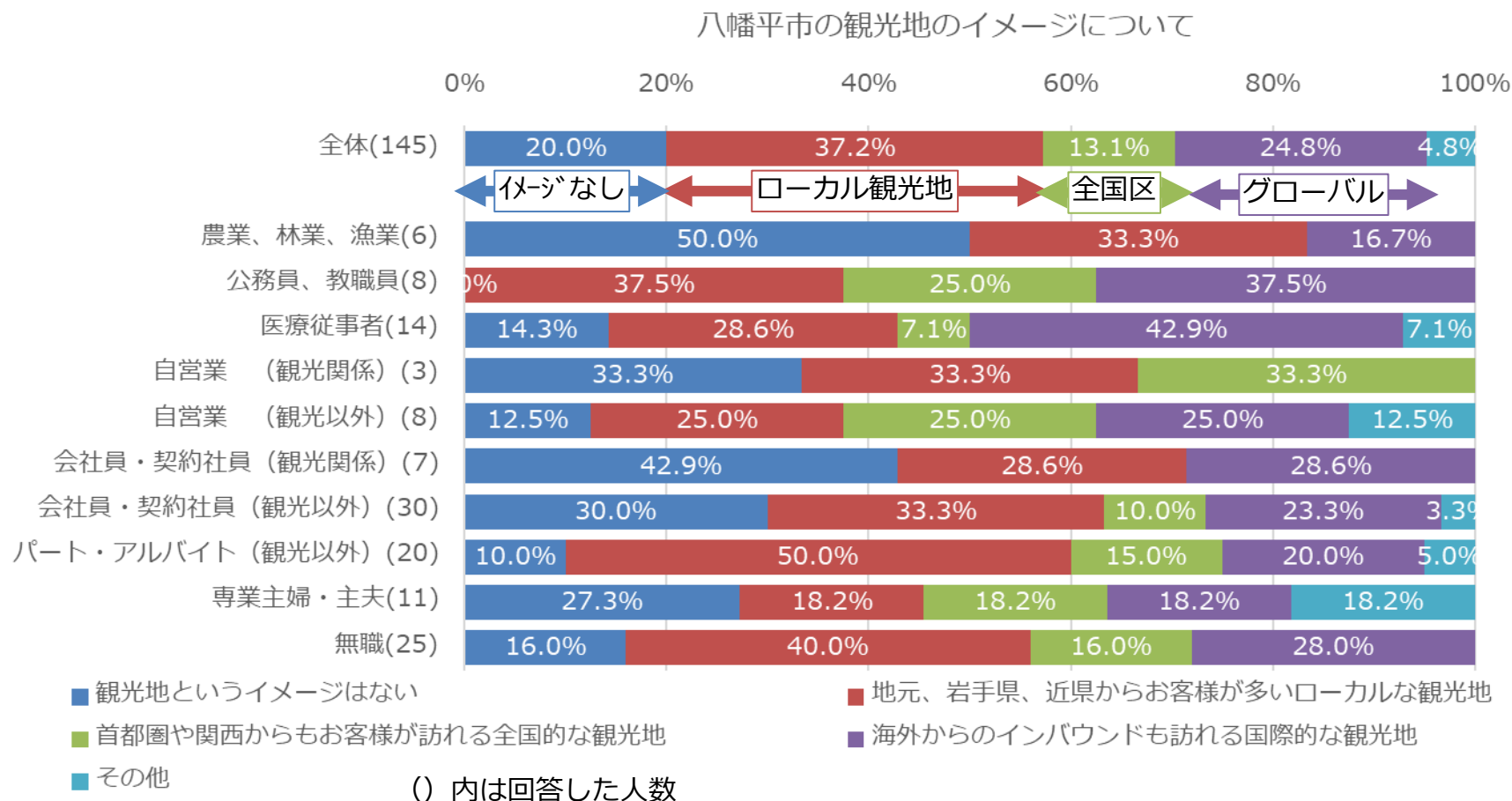
- 八幡平市はコロナ前に宿泊客に占めるインバウンドの割合が25%近くになったにも関わらず、市民の20%はそもそも観光地というイメージがなく、37%は「ローカルな観光地」という認識である
- ただ、『国際的な観光地』と認識している人は24.8%で、昨年度の21.7%より認識が広まっている
- 特に男性のほうが全般的に観光地の認識度が高く、20代～40代は最もグローバルなイメージを思っている
- 一方、50代以上はグローバルなイメージが少なく、特に60代は観光地というイメージを持っていなかったり、持ってもローカルな観光地という認識である

八幡平市の観光地のイメージについて



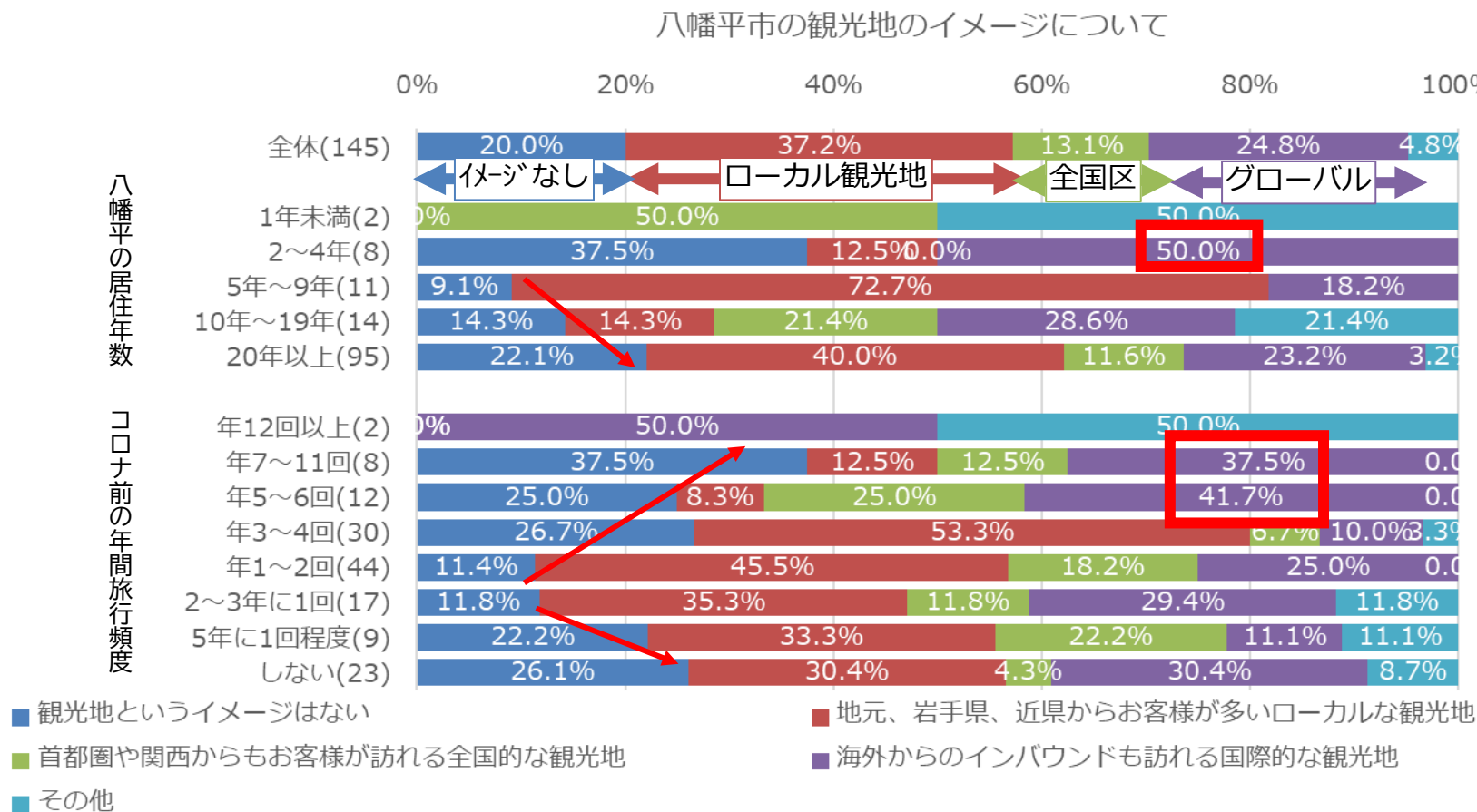
1. 八幡平市の観光イメージ (2) 職業別

- 国際観光地のイメージは観光関係の公務員、教職員、医療関係者に高い
- 農林漁業、会社員、契約社員はあまり観光地というイメージがなかったりローカルな観光地と思っている
- 無職はローカルな観光地と思っている人が多い一方で、グローバルという認識している人も多い



1. 八幡平市の観光イメージ（3）八幡平居住年数、年間旅行頻度 HACHIMANTAI DMO

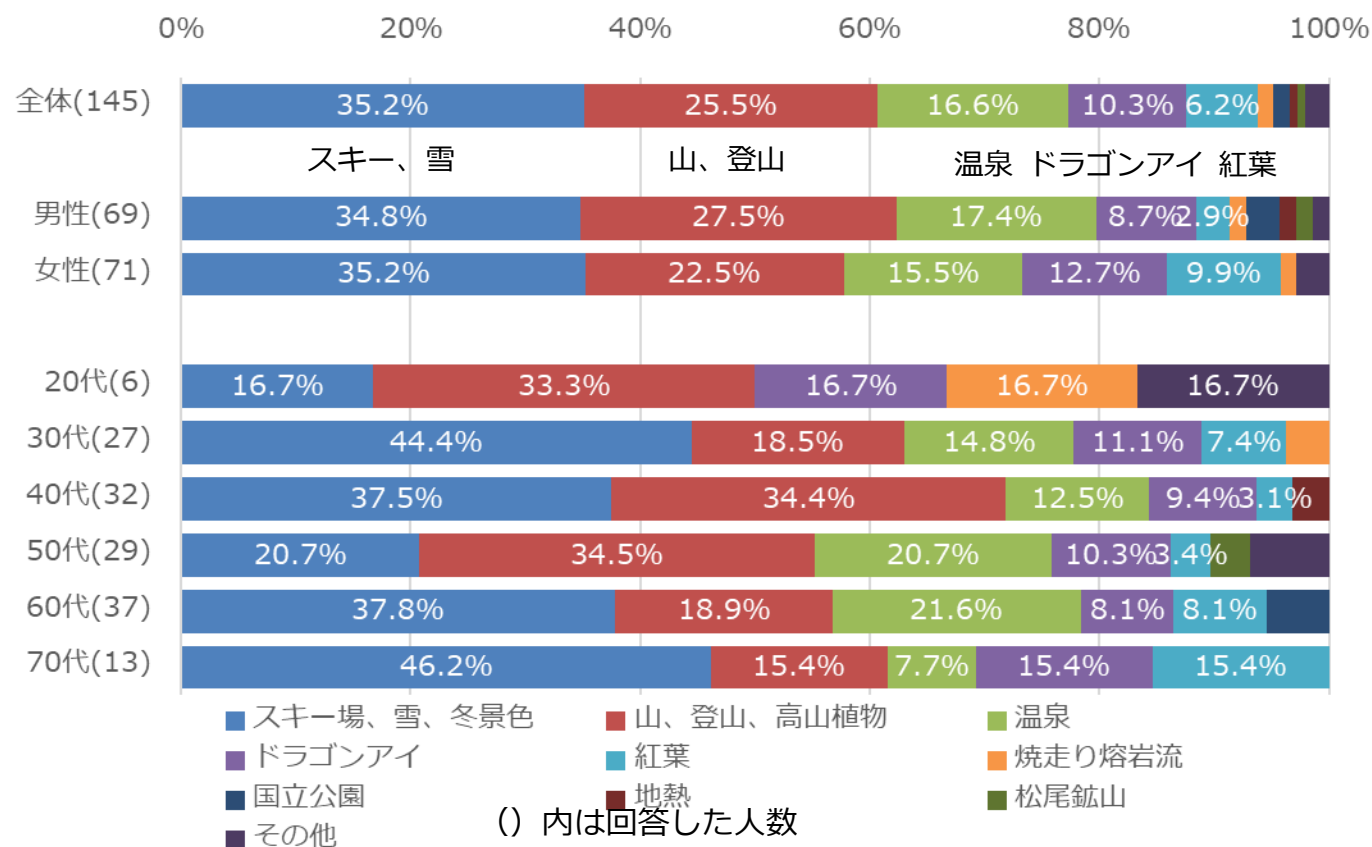
- 居住年数が短い市民ほどグローバルなイメージの割合が多いが、長く住むほどにイメージが薄くなる（もしくは、移住した際のイメージが影響を与えている。）安比のスキーが盛んであった頃を知る10年、20年以上の居住者が全国区のイメージを持っていてもおかしくないが、当時ほどの勢いがなくなることからローカルな観光地というイメージになってしまったのかもしれない
- 旅行頻度が高いほど八幡平は観光地ではないというイメージが高い。旅行頻度が高いと、かえって自身の住む場所を観光地としてイメージしづらいのかもしれない。旅行頻度が高い市民に自分の住む地域が観光地であることを認識してもらって、その経験を観光地域づくりに活かすようにしてもらえれば理想であり、旅行頻度の高い人への啓蒙も大事と思われる



2. 八幡平市の観光資源のイメージ (1)性別、年齢別

- 八幡平市民の99.3%は八幡平市の観光資源について思い浮かぶ。市民にとって、観光資源が身近な存在であると考えられる
- 八幡平市民の35%がスキーをイメージし、次いで4人に一人は山や登山、16%が温泉で、1割がドラゴンアイと続く
- 男女では大きな差はないが、やや男性のほうが温泉を意識し、女性はドラゴンアイや紅葉のイメージが強い
- 30代、40代、60代、70代はスキーのイメージが多いが50代と20代は少ない。登山は20代、40代、50代のイメージが強く、温泉は50代、60代が多い。ドラゴンアイは10代、70代がイメージしやすく、20代では焼け走り溶岩流を思い浮かべる人もいる

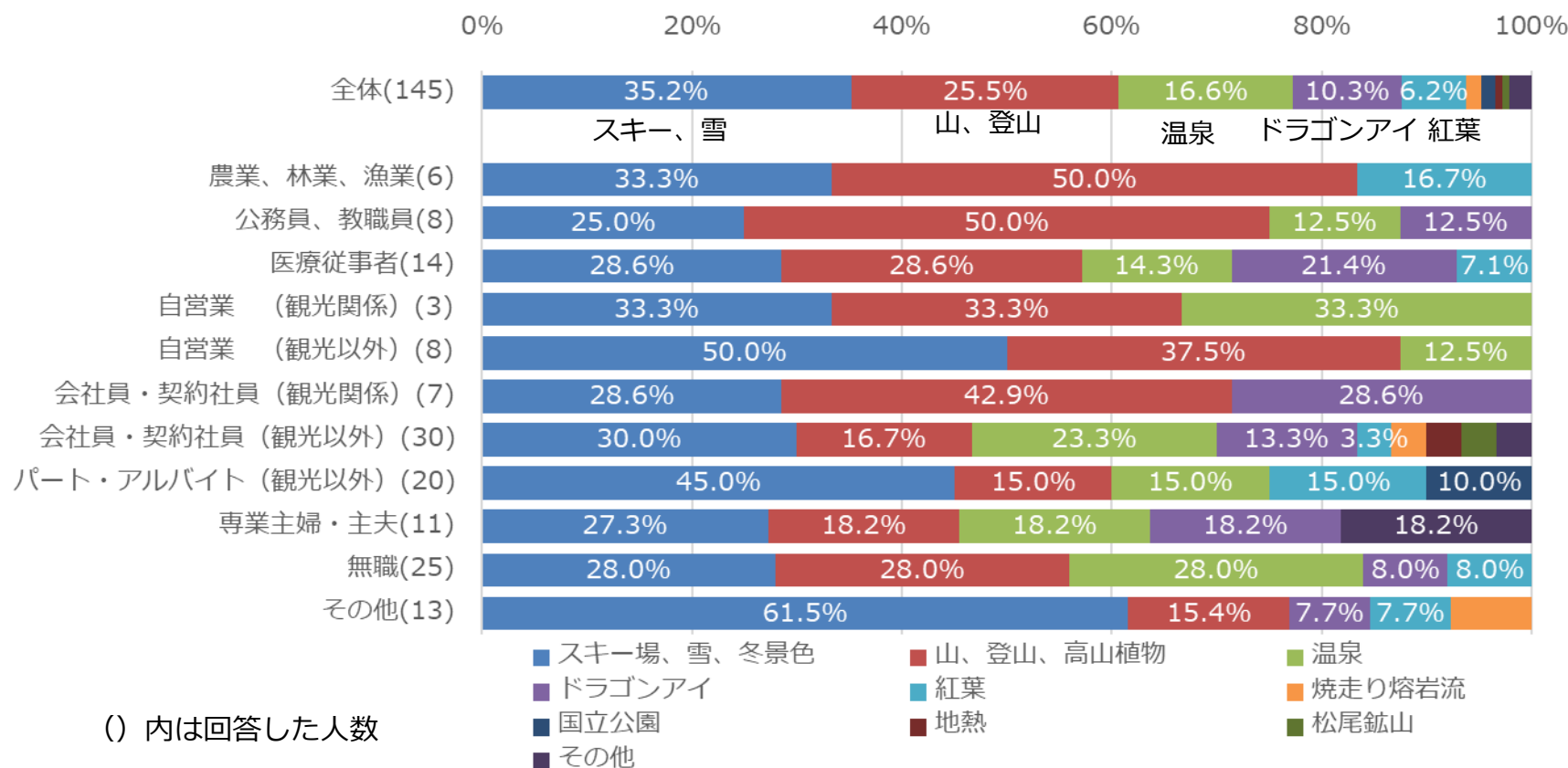
「八幡平の観光」と聞いて最も強く思い浮かぶ観光資源について



2. 八幡平市の観光資源のイメージ (2)職業別

- ・ 職業別では観光関係以外の自営業者でスキーをイメージするほか、パートアルバイトでも多い
- ・ 農林漁業や公務員、教職員の半分は山や登山をイメージしている
- ・ 温泉では観光関係の自営業や観光以外の会社員が多い

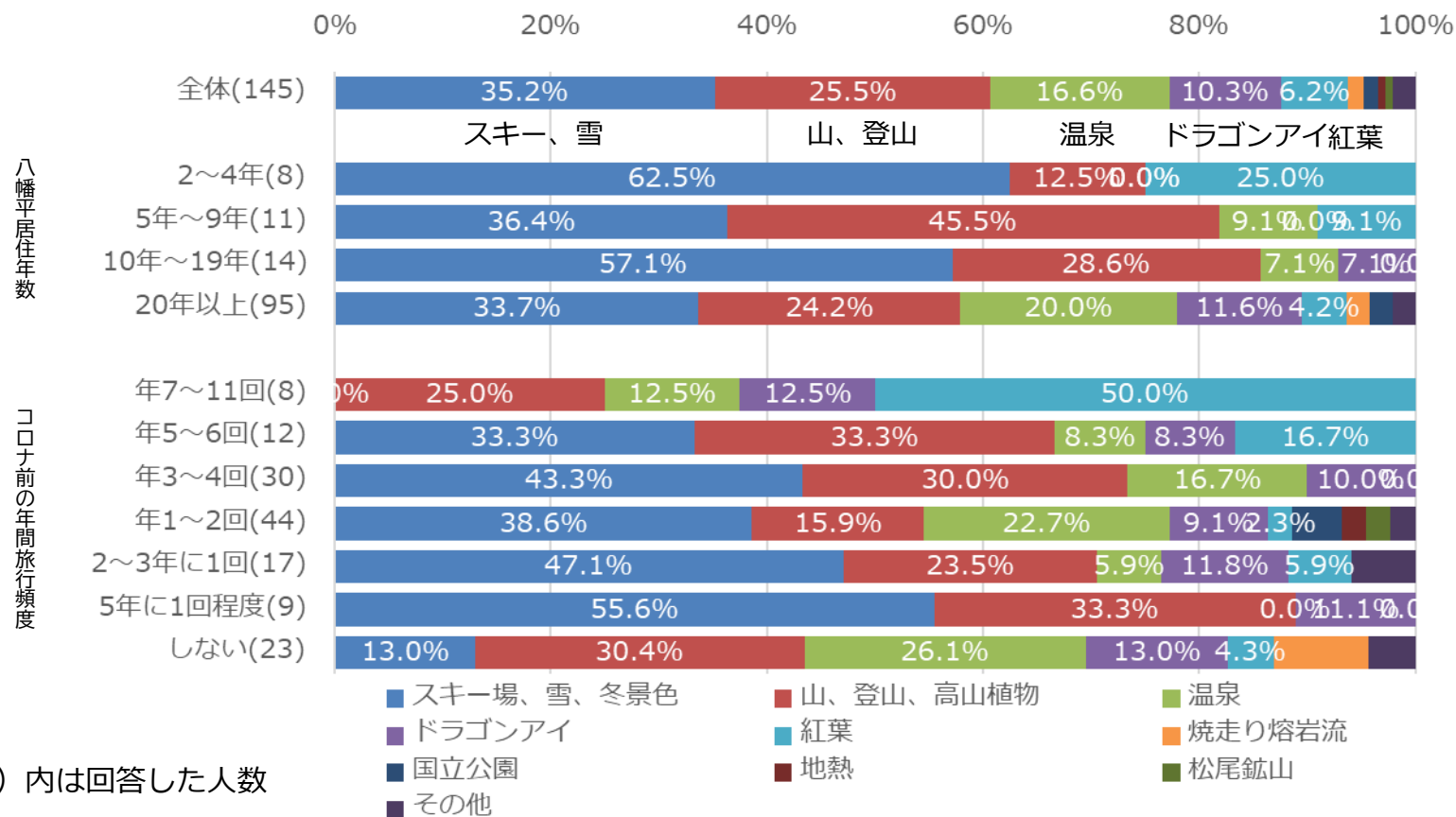
「八幡平の観光」と聞いて最も強く思い浮かぶ観光資源について



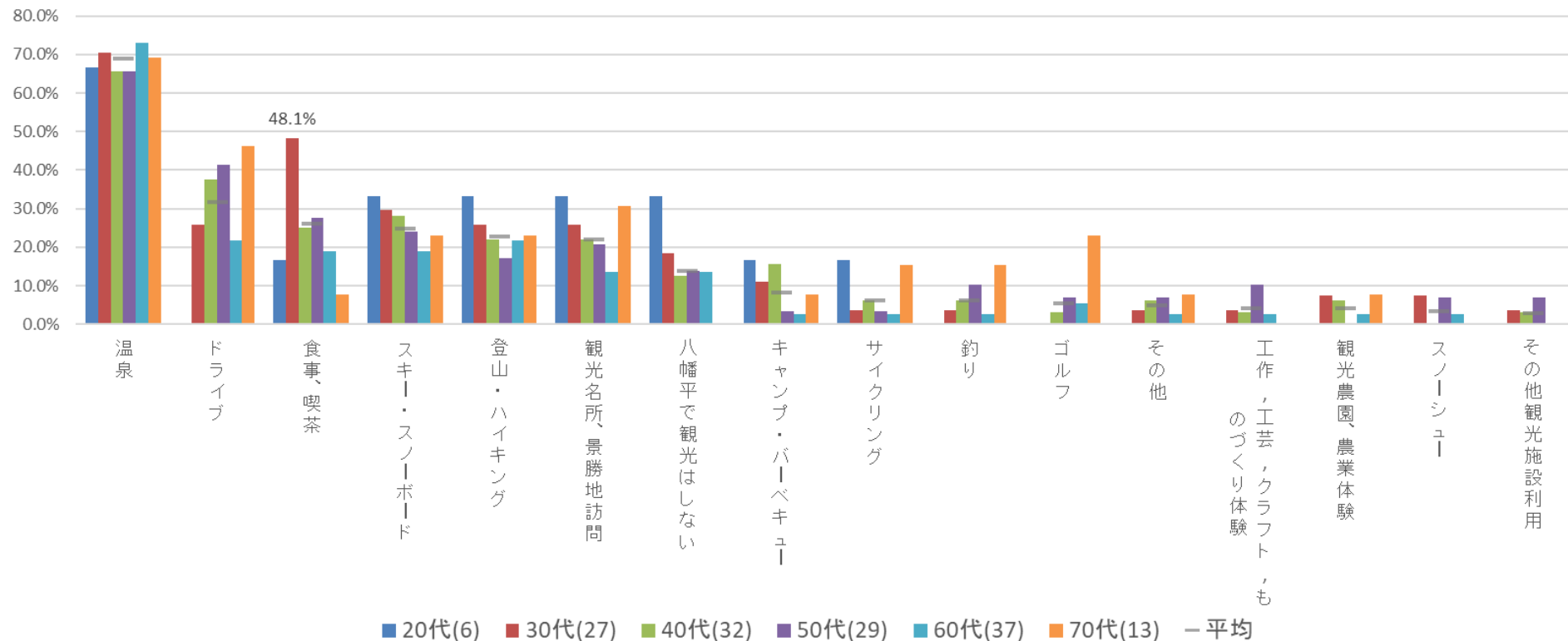
2. 八幡平市の観光資源のイメージ (3)居住年数、観光頻度別

- ・ 居住年数では経年による大きな傾向はない
- ・ 旅行回数が少ないほどスキー場のイメージが強く、旅慣れていると紅葉の価値に気が付く人が多いともいえる
- ・ 旅行を全くしない人はスキーのイメージも少なく、日常的に目にする山や温泉のイメージが高い

「八幡平の観光」と聞いて最も強く思い浮かぶ観光資源について



- あなた自身が八幡平で楽しまっているもの

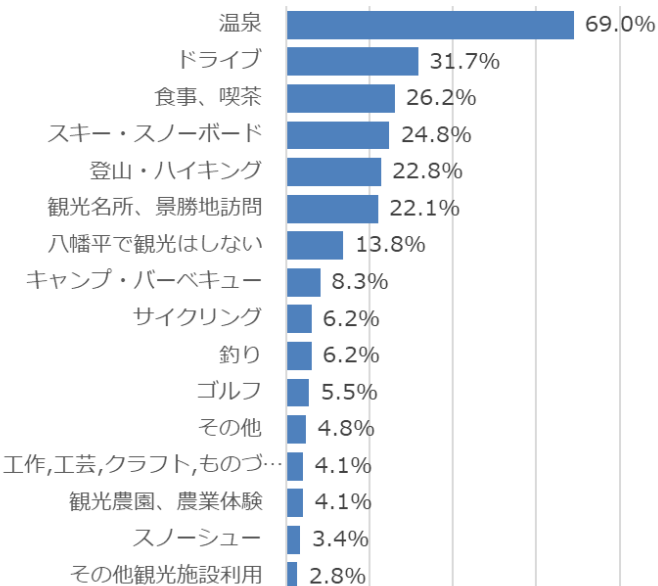


3. 八幡平市民のアクティビティ (1) 全体および男女別

- ・ 八幡平市民が八幡平で実際に親しんでいる観光では、圧倒的に温泉が多く、次にドライブや食事など気軽に楽しめるものが続く
- ・ スキーやスノーボードは4人に1人、登山などは22%と、少なくはないが、これだけ身近で楽しめる環境があるのに勿体ない
- ・ 男女別では、全体的に男性のほうが実施率が高いが、特にスキースノーボードや登山では差が多く、八幡平で観光はしないというので女性が多い。女性の参加率が相対的に低い傾向である

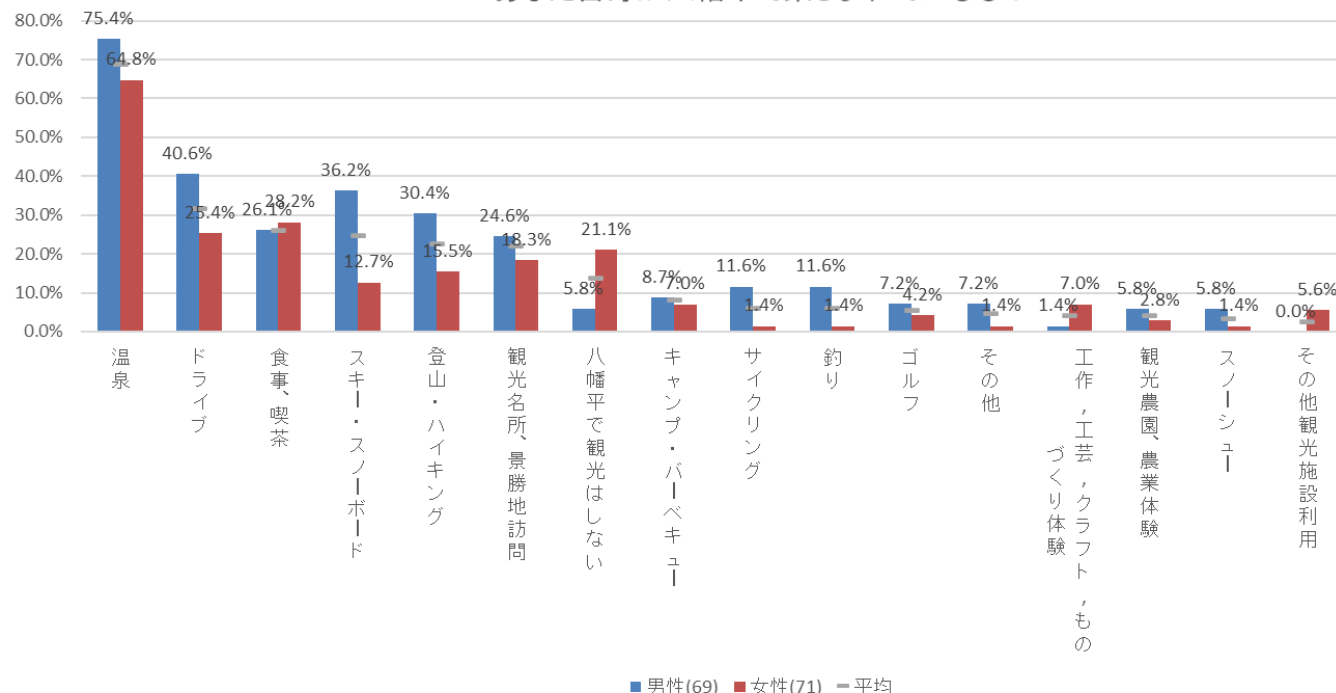
あなた自身が八幡平で楽しんでいるもの

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



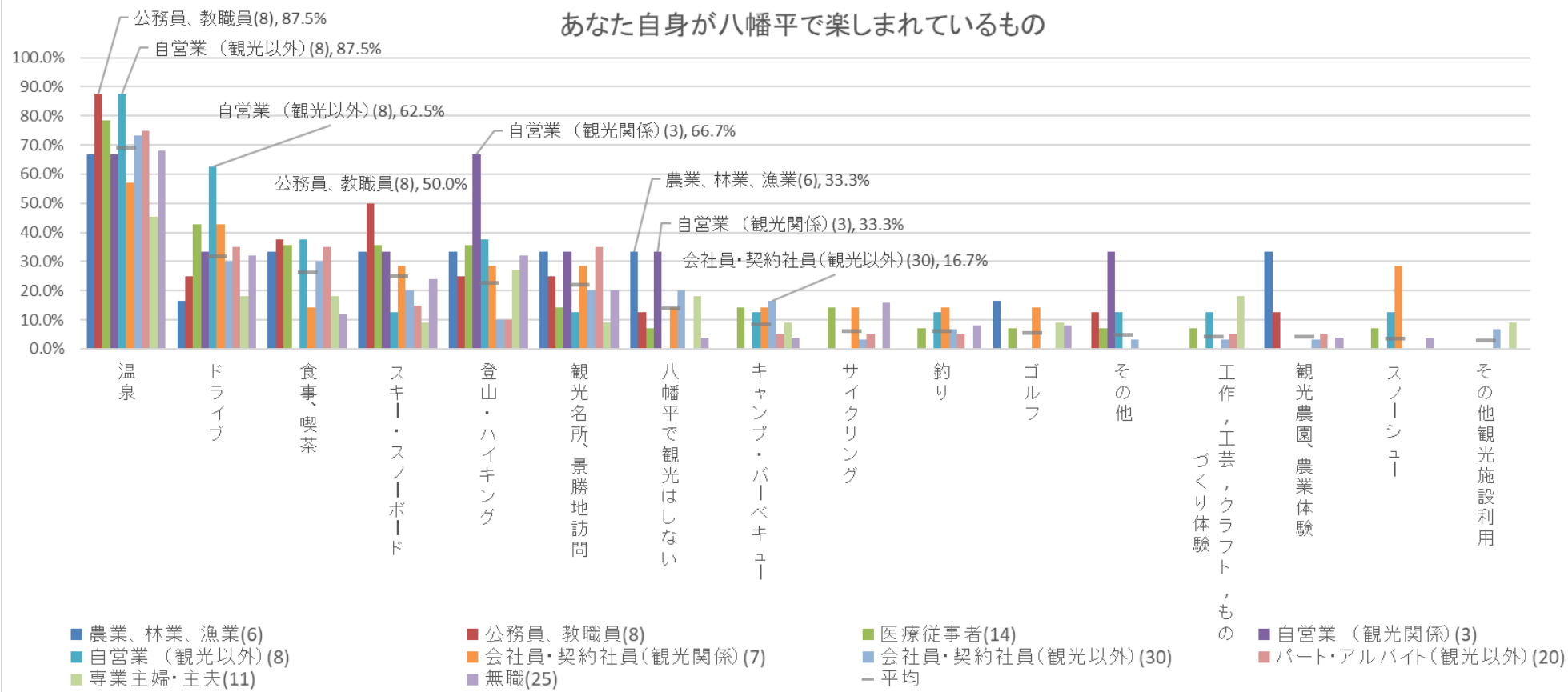
数字は回答数

あなた自身が八幡平で楽しんでいるもの



3. 八幡平市民のアクティビティ (2) 職業別

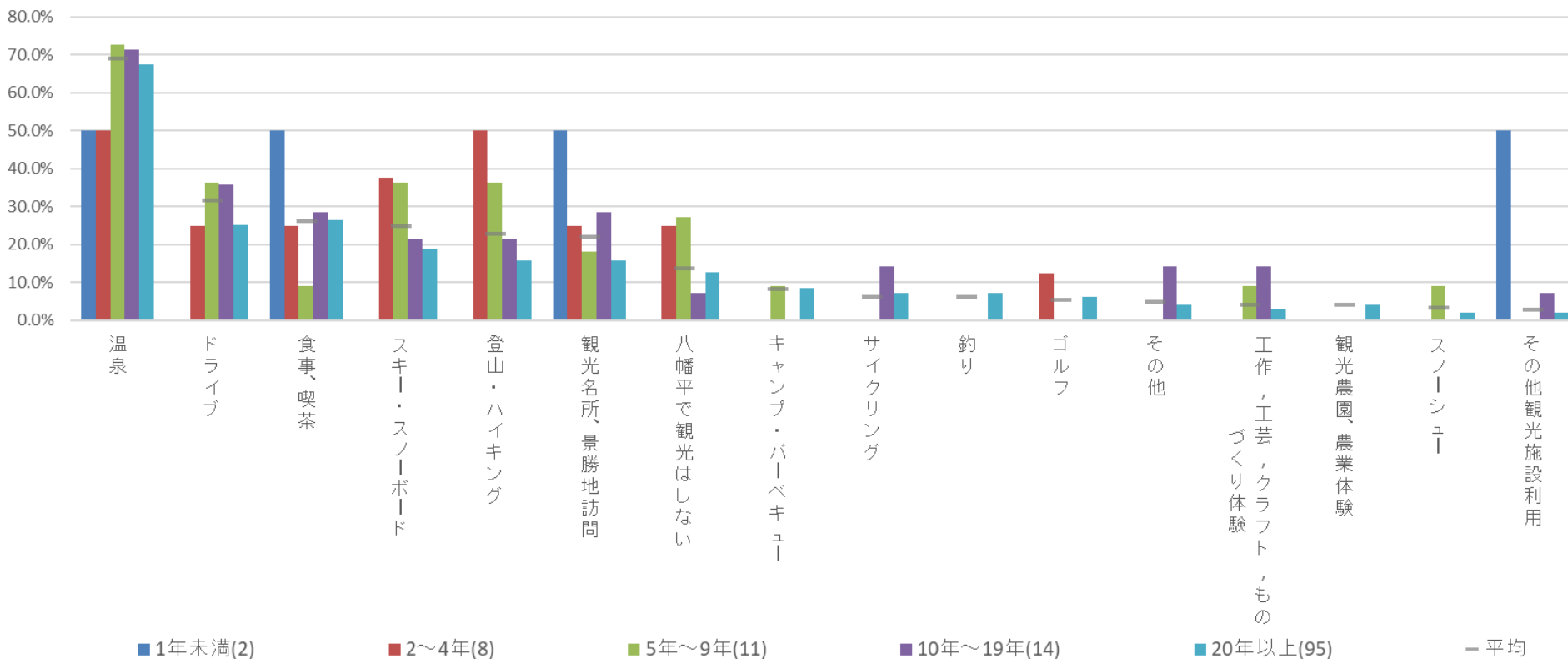
- ・ 温泉などでは公務員、教職員や観光以外の自営業者が楽しんでいる割合が高い
- ・ 観光以外の自営業者はドライブの実施率も高い
- ・ スキースノーボードでは公務員、教職員の割合が高い。公務員教職員は比較的様々な観光を八幡平で楽しんでいる
- ・ 登山ハイキングではサンプルは少ないが観光関係の自営業者の割合が高い
- ・ 農林漁業関係者や観光関係の自営業者ではサンプルは少ないが観光をしない人の割合が高い

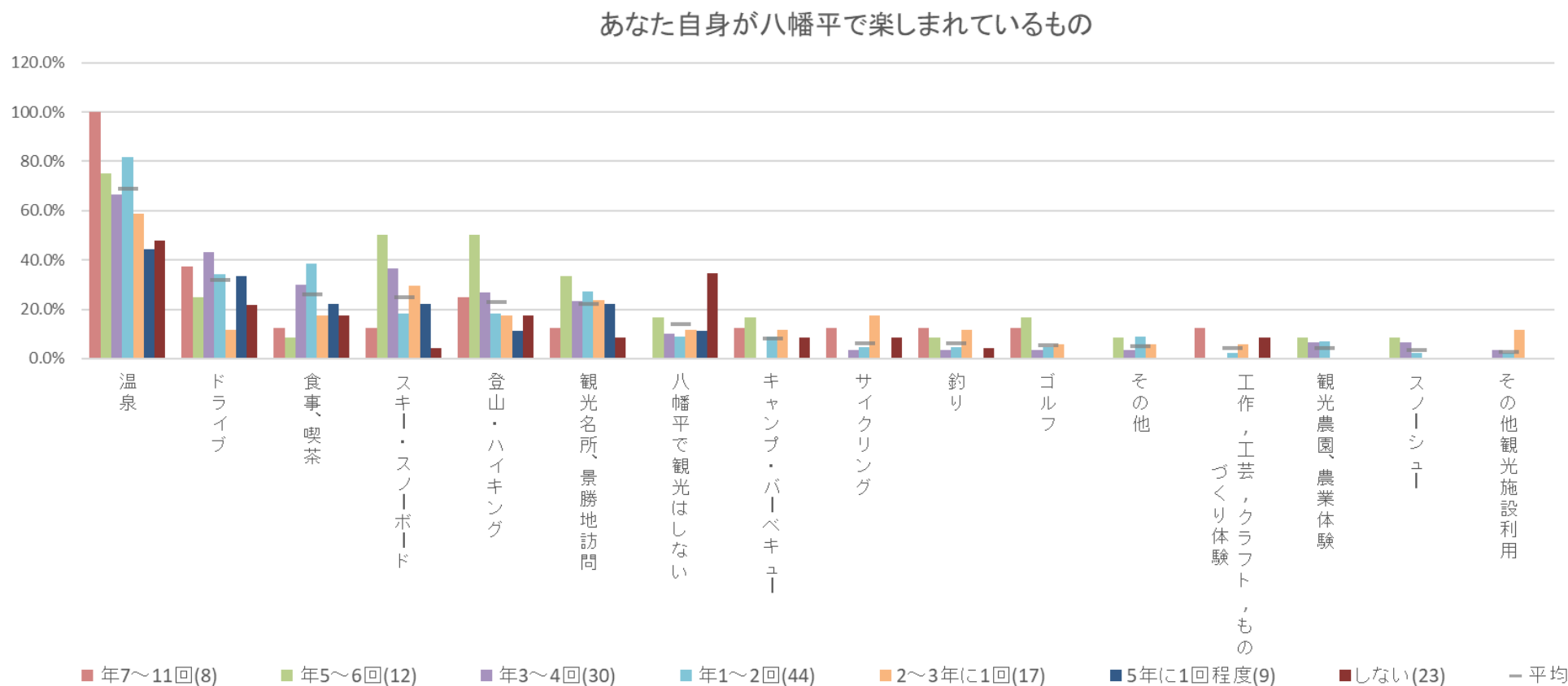


3. 八幡平市民のアクティビティ (3) 居住年数別

- ・ 居住年数が5年以上になると温泉を楽しむ割合が大きくあがる
- ・ スキースノーボードでは2年～9年目までの居住者で割合が高く、それ以上住んでいる人はあまりやらない
- ・ 登山は2年～4年をピークに居住年数が長くなるとやらなくなる
- ・ 一般的に居住年数が長くなる実施率が下がる傾向があるが、サンプル数が多くなることも影響している

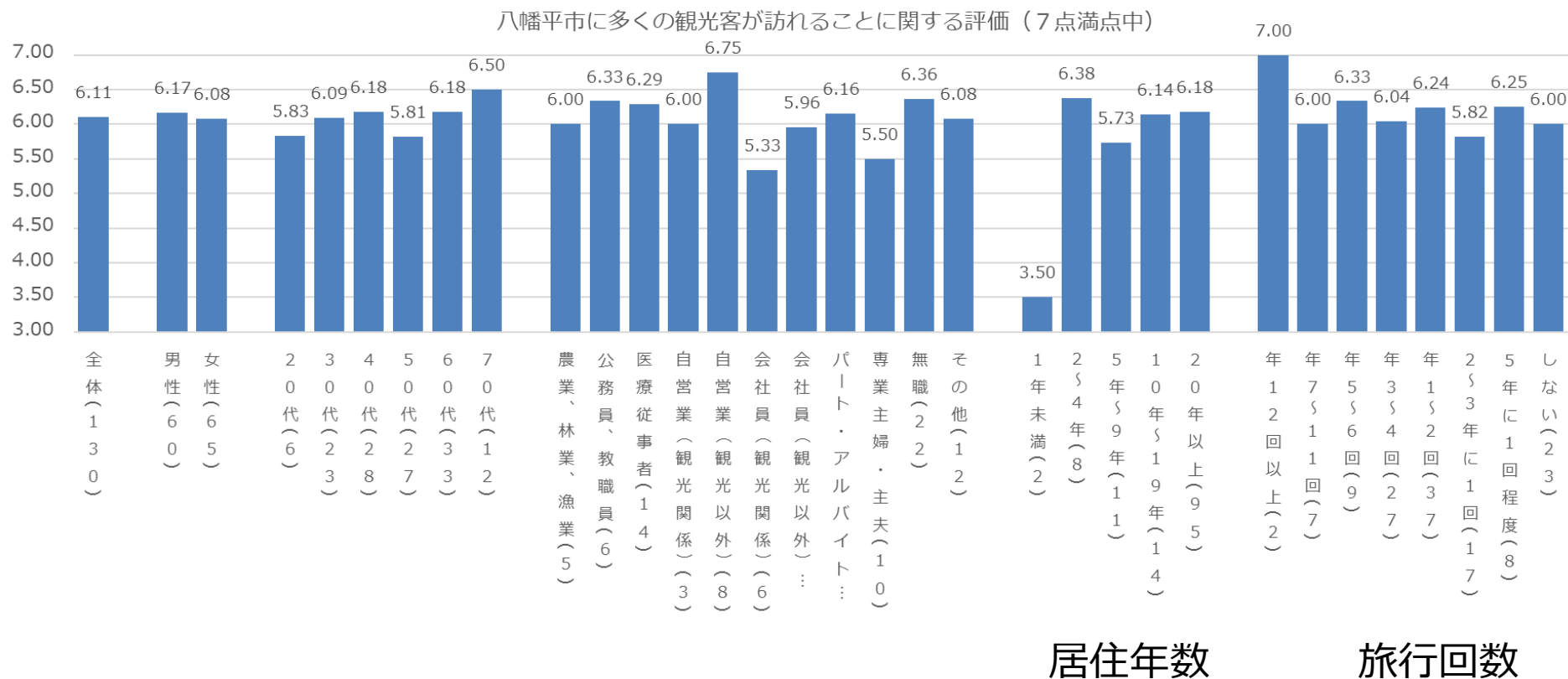
あなた自身が八幡平で楽しまれているもの





4.八幡平に多くの観光客が訪れることに対する評価

- 八幡平に観光客が訪れることに対して、「とても良いことだと思う（7点）」「良いことだと思う（6点）」「どちらかというの良いことだと思う（5点）」「どちらとも言えない（4点）」「あまり良いと思わない（3点）」「良いと思わない（2点）」「全く良いと思わない（1点）」としたところ、全体平均で6.11点となり、昨年の6.45点から下がってしまった。昨今、オーバーツーリズムに対する報道も影響していると思われる
- 男性のほうが比較的前向きで、年齢が高くなるほど評価が高い
- 観光以外の自営業などは前向きだが、サンプルが少ないものの、観光関係の会社員があまり前向きではないのは問題



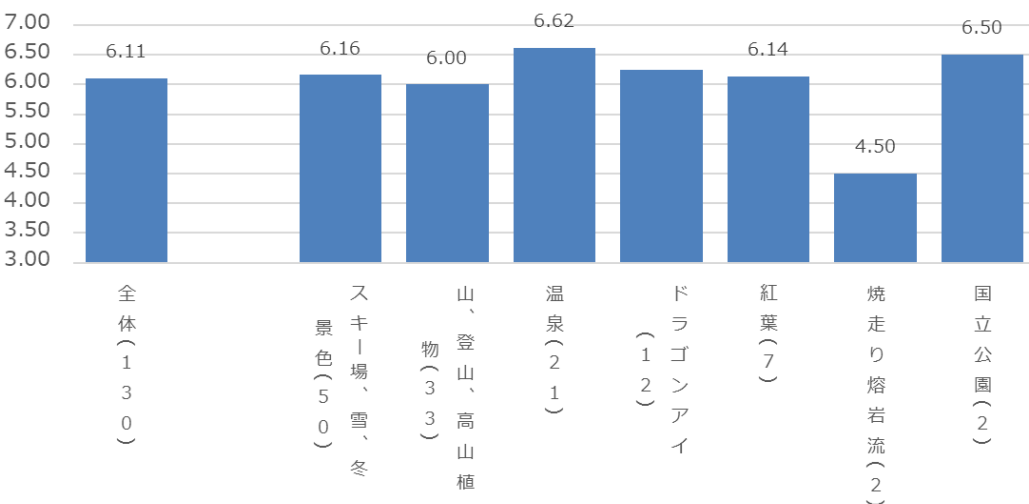
4.八幡平に多くの観光客が訪れることに対する評価

(2)



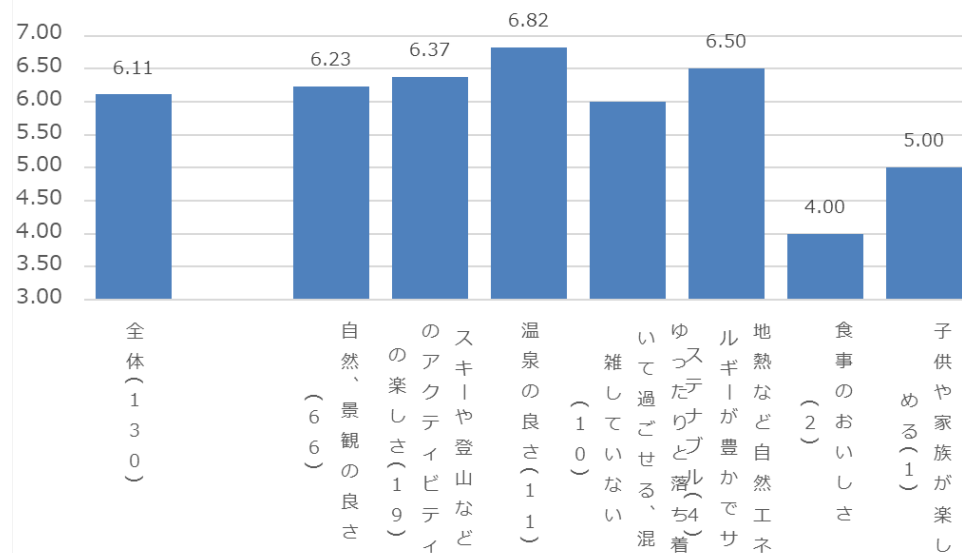
- ・ 八幡平に観光客が多く訪れることに対しての評価を、八幡平市の観光のイメージや知り合いにお勧めする八幡平の観光のポイントで答えた内容別に平均を集計した
- ・ 八幡平の観光といえば温泉と思いつく人は比較的観光客に前向きで、知り合いに温泉をお勧めする人も前向きである
- ・ 焼け走り溶岩流や山や登山を思いつく人は全体平均よりも後ろ向きで、自然保護意識と関係があるかもしれない
- ・ ゆったりと過ごせることをお勧めする人も観光客が増えることには後ろ向きである

八幡平市に多くの観光客が訪れることに関する評価（7点満点中）



八幡平市の観光のイメージ

八幡平市に多くの観光客が訪れることに関する評価（7点満点中）



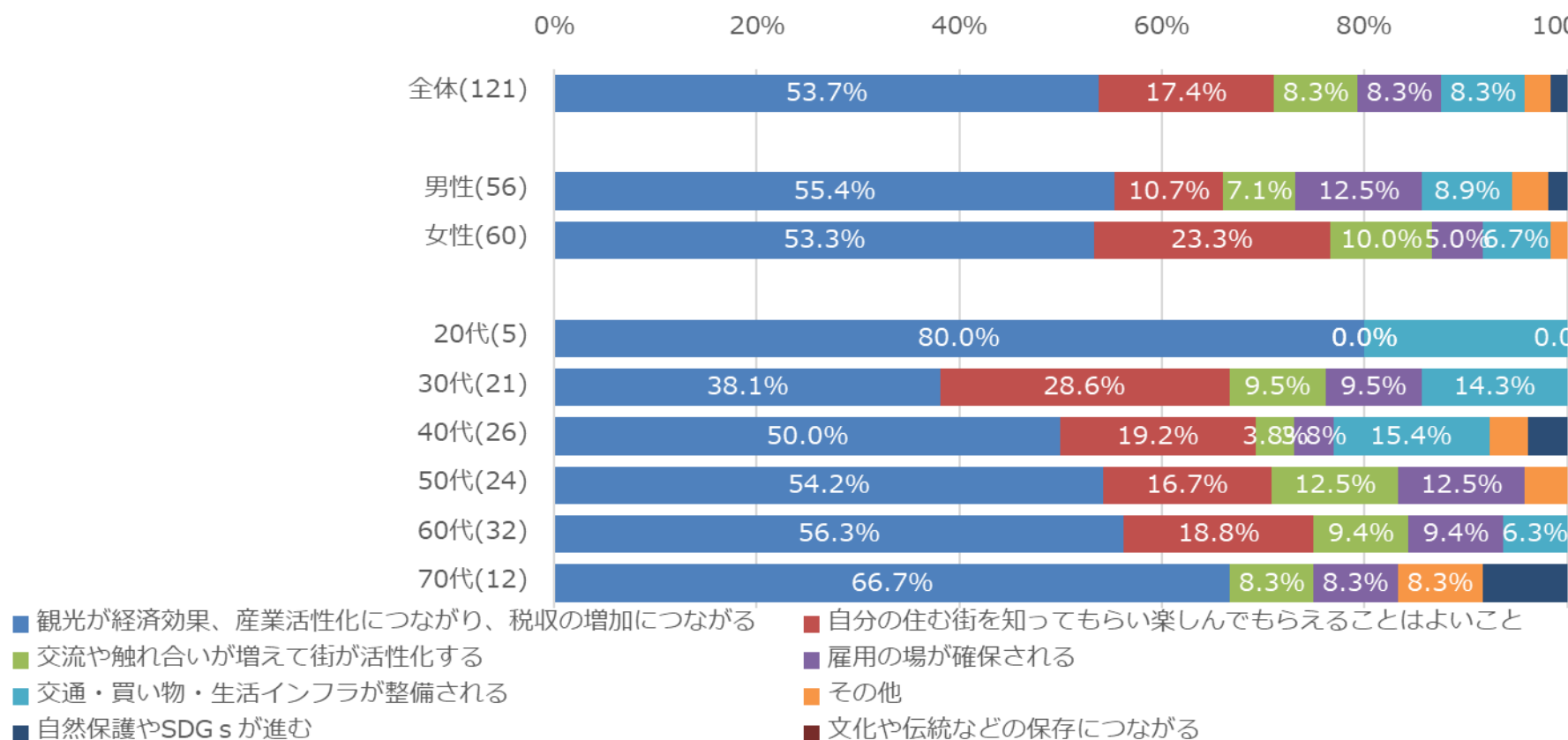
知り合いにお勧めする八幡平の観光のポイント

5.八幡平に多くの観光客が訪れることに対する評価の理由

(1) 性別、年齢別

- 八幡平に観光客が多く訪れることを評価する理由として、もっとも多いのは経済効果/税収で、次いで、自分の町を楽しんでもらうことはよいことが続き、街の活性化、雇用の確保、インフラ整備が続く
- 女性は自分の住む街を知ってもらい楽しんでもらえることはよいことが多い
- 年齢が上がるにつれて経済効果を重視する傾向があり、30代は楽しんでもらえることはよいことが多い。また30代、40代はインフラ整備への期待も多い

八幡平市に多くの観光客が訪れることを評価する理由

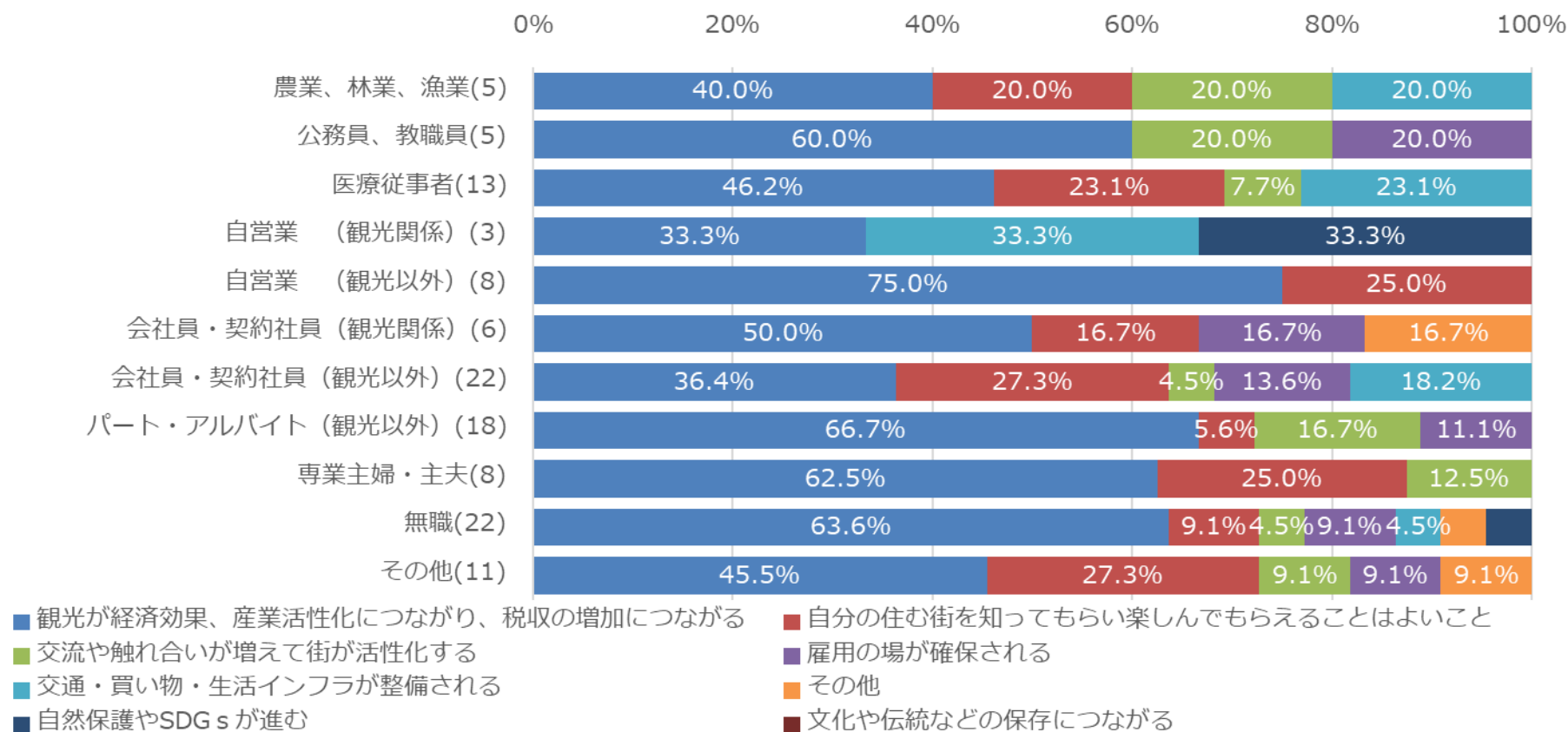


5.八幡平に多くの観光客が訪れることに対する評価の理由

(2) 職業別

- 観光客が多くなることを評価する理由として、観光以外の自営業、観光以外のパートアルバイト、無職、専業主婦などが経済効果に対する期待が多い

八幡平市に多くの観光客が訪れることを評価する理由

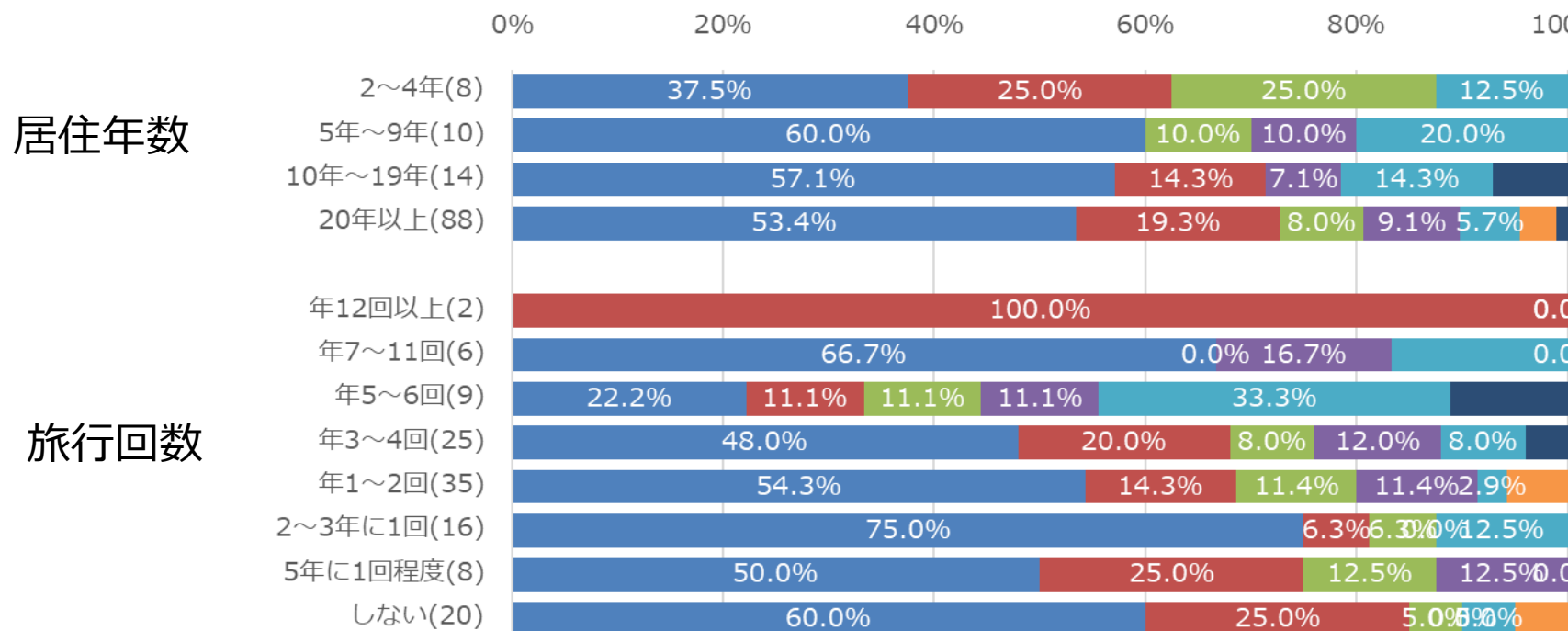


5.八幡平に多くの観光客が訪れることに対する評価の理由

(3) 居住年数、旅行回数別

- 観光客が多くなることを評価する理由として、観光以外の自営業、観光以外のパートアルバイト、無職、専業主婦などが経済効果に対する期待が多い
- 居住年数が長くなるほど経済効果に対する期待が下がり、単純に自分の街を知ってもらえることに喜びを感じている
- 旅行回数との相関はあまり見られない

八幡平市に多くの観光客が訪れることを評価する理由

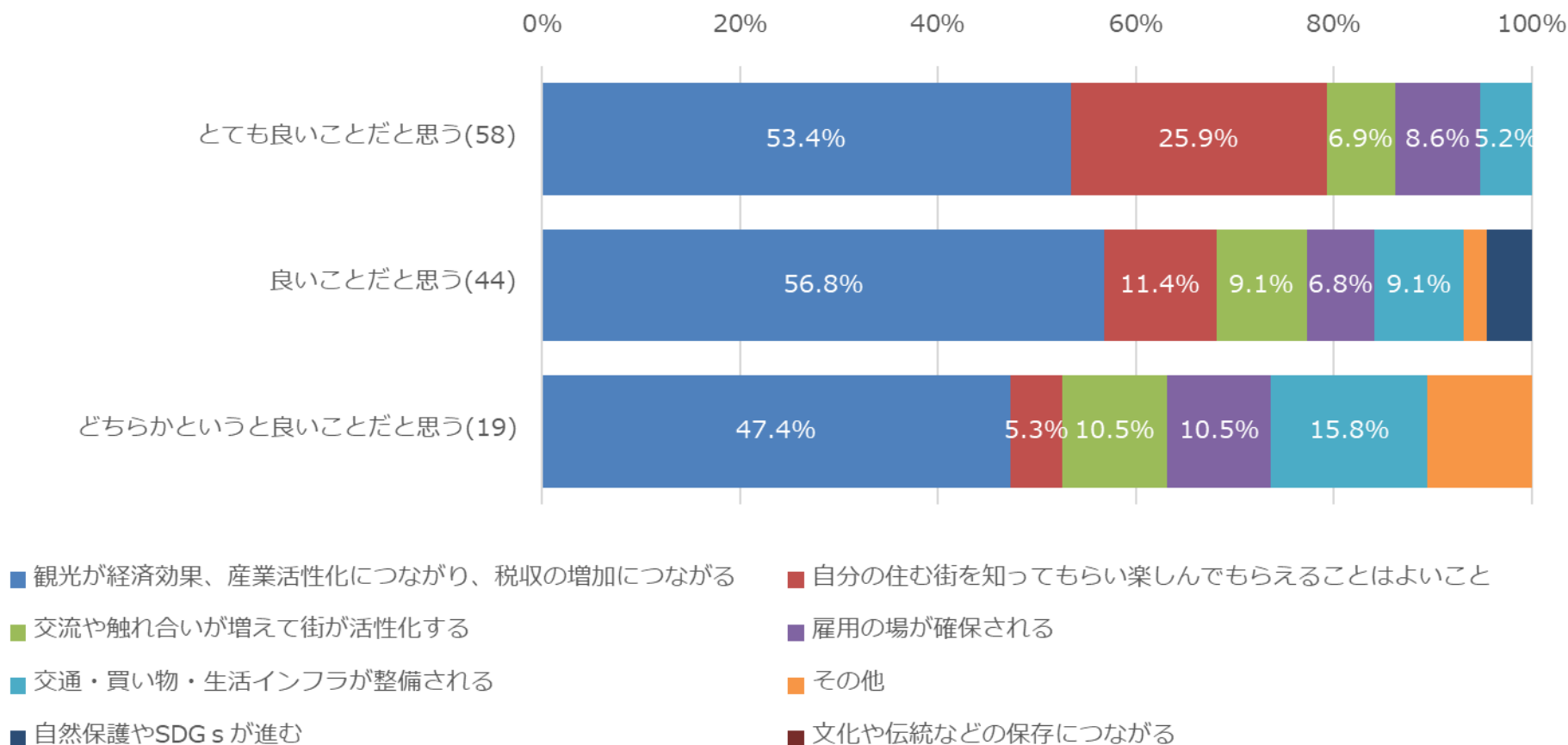


- 観光が経済効果、産業活性化につながり、税収の増加につながる
- 交流や触れ合いが増えて街が活性化する
- 交通・買い物・生活インフラが整備される
- 自然保護やSDG sが進む
- 自分の住む街を知ってもらい楽しんでもらえることはよいこと
- 雇用の場が確保される
- その他
- 文化や伝統などの保存につながる

5.八幡平に多くの観光客が訪れることに対する評価の理由 (5) 評価別

- 観光客が多くなることを評価する理由を評価基準別に分析した
- 観光客が増えることについて「とても良いことだと思う」人は、基本的には経済効果を重視するが、「良いことだと思う」人よりも自分の住む街を知ってもらい楽しんでもらえることはよいことと考えている人の割合が高い
- 「どちらかというとも良いことだと思う」のやや消極的な人は他の選択肢よりも経済効果があると思っている人の割合が少ない
- 経済効果を実感したりするとより前向きに考える人が増えるかもしれない

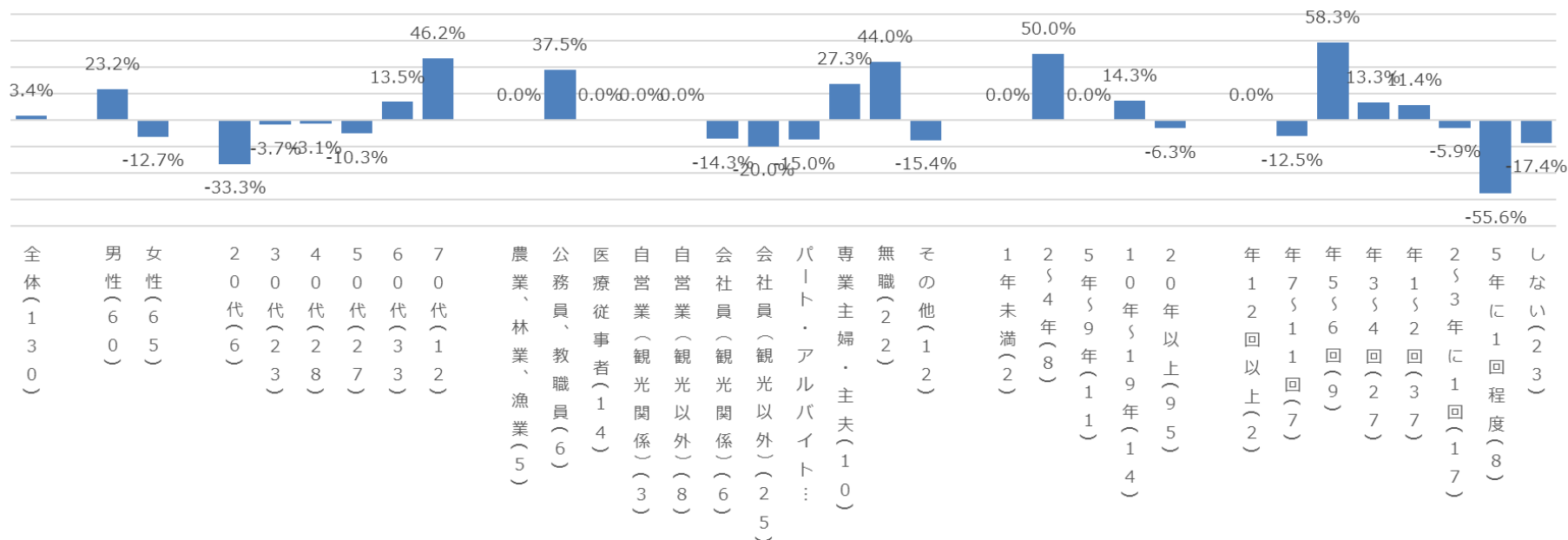
八幡平市に多くの観光客が訪れることに関する評価とその理由



6.八幡平の観光について知人に対する推薦意向 (1) 性別、年齢、職業、居住年数、旅行回数別

- ・ 市外の友人等に八幡平をお勧めする度合いを10点満点で評価してもらい、NPS（Net Promoter Score、推薦意向）を評価した
（9点以上の得点をつけた人の割合から6以下の評価の人の割合を引いた指標をNPS（Net Promoter Score）という）
- ・ 全体のNPSとしては3.4%であり、決して高くはなく、八幡平市民はあまり八幡平の観光を推薦したくない
- ・ 男性のほうが女性よりも推薦意向が強く、高齢者のほうが若年層よりも高い。
- ・ 職業別には専業主婦や無職の評価が高く、居住年数が2～4年くらいが評価が高い
- ・ 年5～6回程度旅行する人の八幡平の評価が高く、旅行頻度が低くなると評価が低くなる。ただし、年7回以上の本当に旅慣れた人は評価がさが

市外のご友人等に対する八幡平市への観光の推薦度（NPS = 10点満点で9点以上の割合 - 6点以下の割合）



居住年数

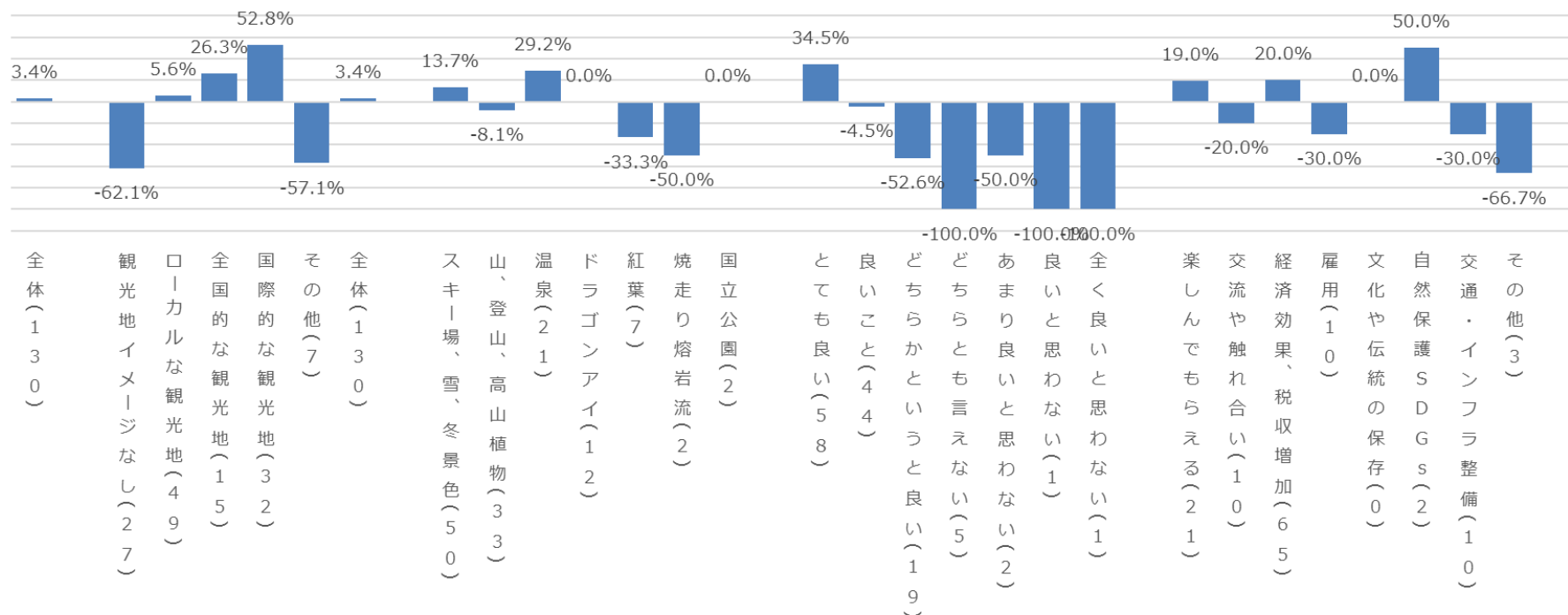
旅行回数

6.八幡平の観光について知人に対する推薦意向

(2) 観光地のイメージ、観光客が増えることの評価、推薦意向

- 市外の友人等に八幡平をお勧めする度合いを10点満点で評価してもらい、NPS（Net Promoter Score、推薦意向）を評価した（9点以上の得点をつけた人の割合から6以下の評価の人の割合を引いた指標をNPS（Net Promoter Score）という）
- 八幡平の観光イメージがローカルな観光地、全国的な観光地、国際的な観光地と認識が高まると共に推薦意向が伸びる
- 観光資源として温泉をイメージする人が最も推薦度が高く、次いでスキーと続く。サンプルは少ないが焼走り溶岩流や紅葉のイメージの人の推薦度は高くない
- サンプルは少ないが、観光振興が自然保護やSDGsにつながると認識する人の推薦度は高く、次いで経済効果や、単純に楽しんでもらえることがうれしいと考える人ほど推薦度が高い。

市外のご友人等に対する八幡平市への観光の推薦度（NPS = 10点満点で9点以上の割合 - 6点以下の割合）

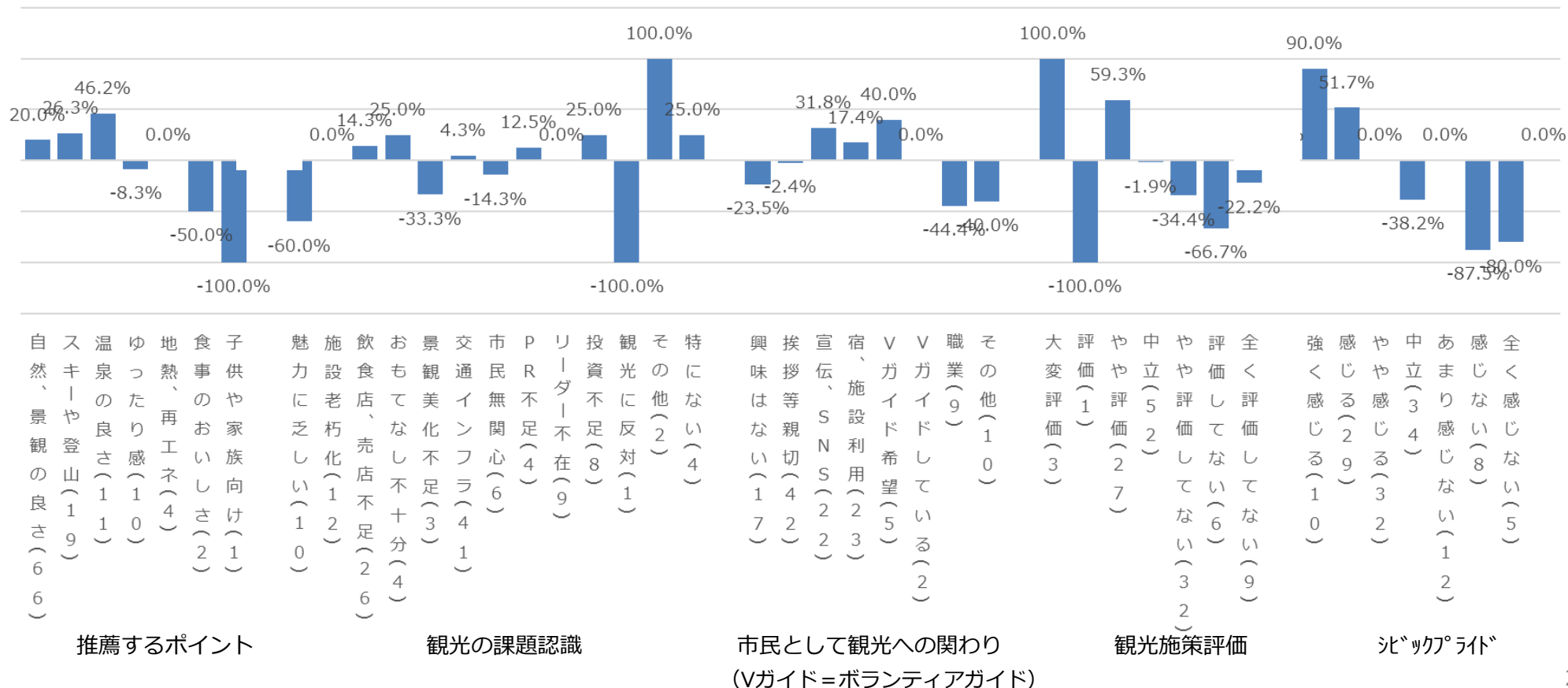


6.八幡平の観光について知人に対する推薦意向

(3) 推薦度、推薦ポイント、課題認識、市民としての関わり、シビックプライド

- ・ 推薦度の根拠別では温泉の良さを挙げる人の推薦度が最も高く、スキーや登山、自然・景観の良さが続く
- ・ 課題認識として、観光地としての魅力に乏しいと感じている人や景観美化の取り組みが不足していると認識している人の推薦度は低くなる傾向があり、おもてなし不十分とを感じる人は比較的推薦度は高い
- ・ ボランティアガイドをしてみたい人や積極的にPRしてくれようとする人は推薦度も高い。観光の仕事の人の推薦度が低い
- ・ 基本的には観光施策評価が高いほど、観光地の推薦意向も高く、評価が低いほど推薦度が低い
- ・ シビックプライドについても、誇りを強く持つほど推薦意向が高く、誇りを感じない人ほど推薦度が低い

市外のご友人等に対する八幡平市への観光の推薦度（NPS = 10点満点で9点以上の割合 - 6点以下の割合）



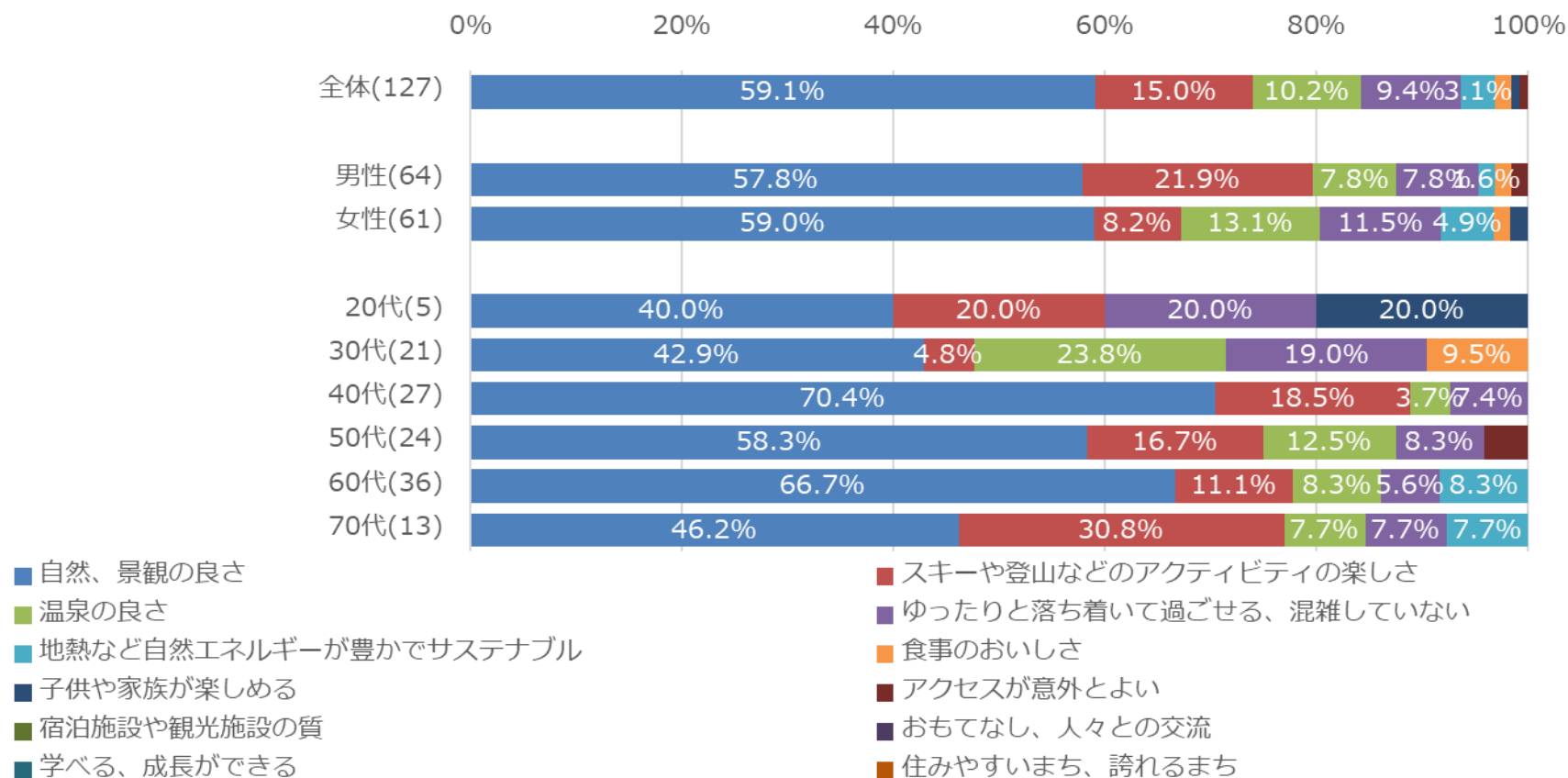
6.八幡平の観光の良いところ、おすすめできる点 年齢別

(1) 性別、年



- 八幡平の観光の良いところ、おすすめできる点を市民に聞いたところ、半数以上が「自然、景観の良さ」を挙げ、次いで「スキーや登山などのアクティビティの楽しさ」3番目には「温泉の良さ」、「ゆったりと落ち着いて過ごせる、混雑していない」が続いた
- 男性はアクティビティの割合が高く、女性は温泉の割合が高い
- 30代は温泉やゆったり過ごせることを挙げる割合が高く、40代～60代は自然景観の良さを挙げ、70代がアクティビティの割合が高い

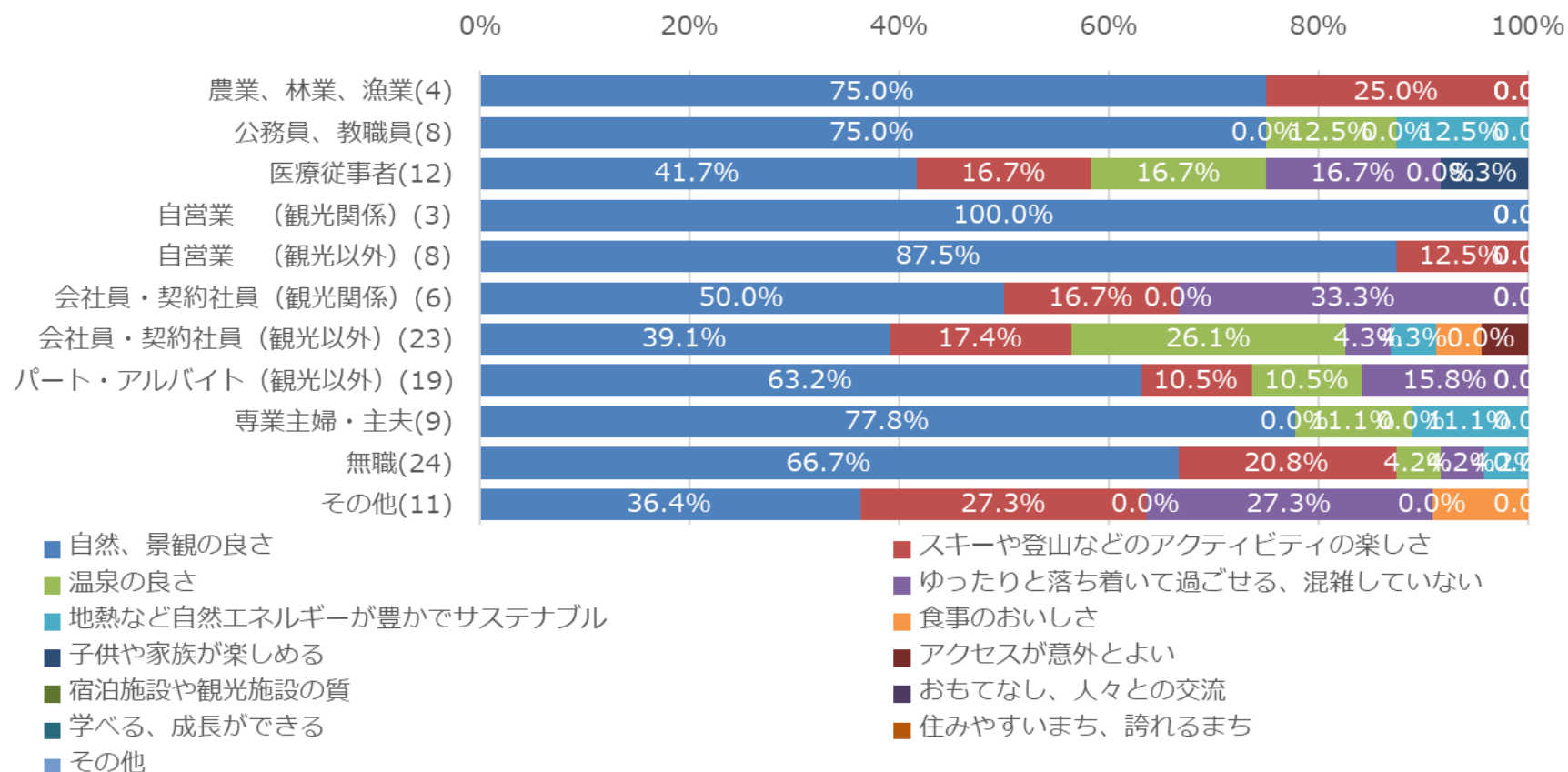
八幡平市の観光の良いところ、おすすめできる点



6.八幡平の観光の良いところ、おすすめできる点（2）職業別

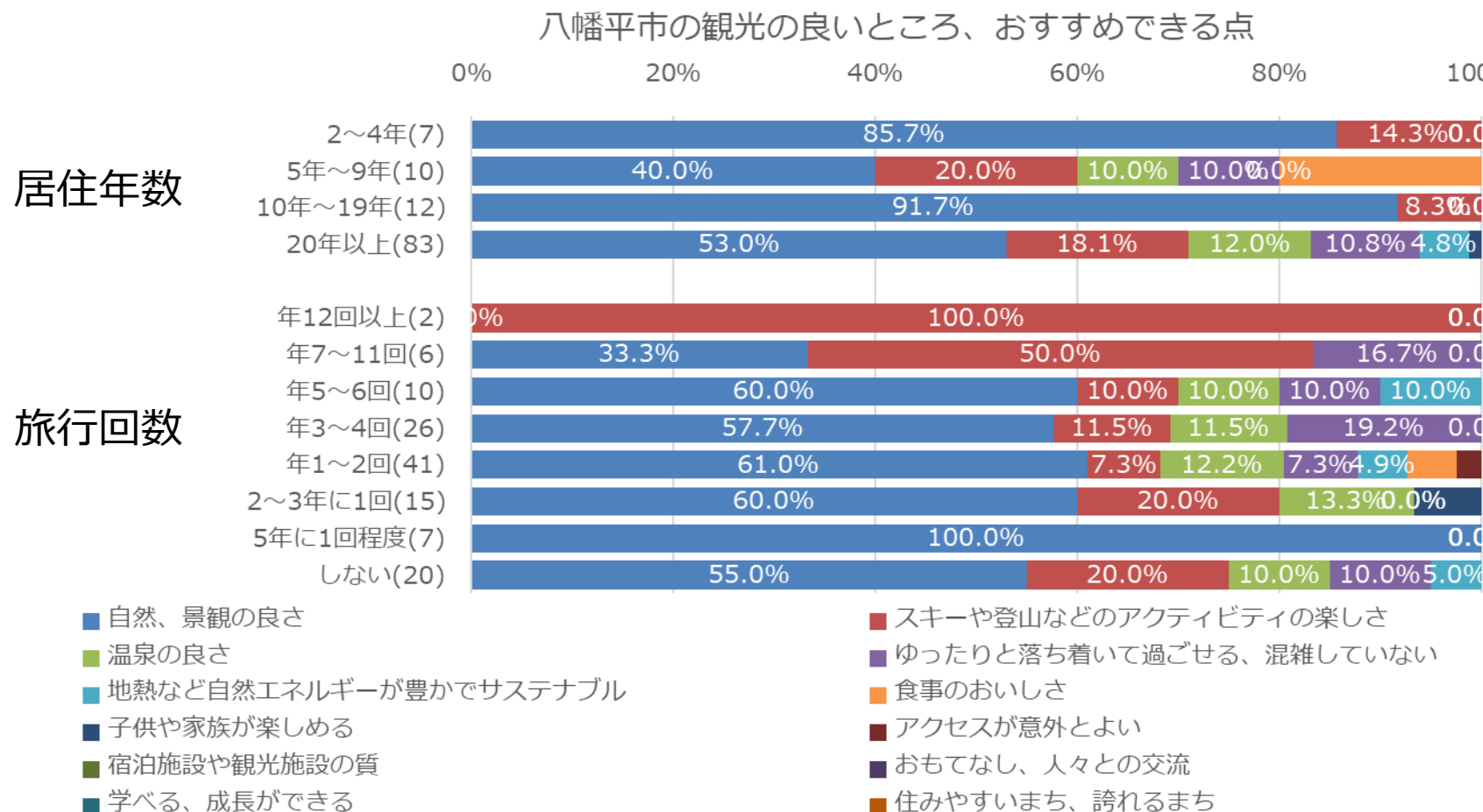
- 職業別では特に大きな傾向があるわけではない

八幡平市の観光の良いところ、おすすめできる点



6.八幡平の観光の良いところ、おすすめできる点 (3) 居住年数、旅行回数別

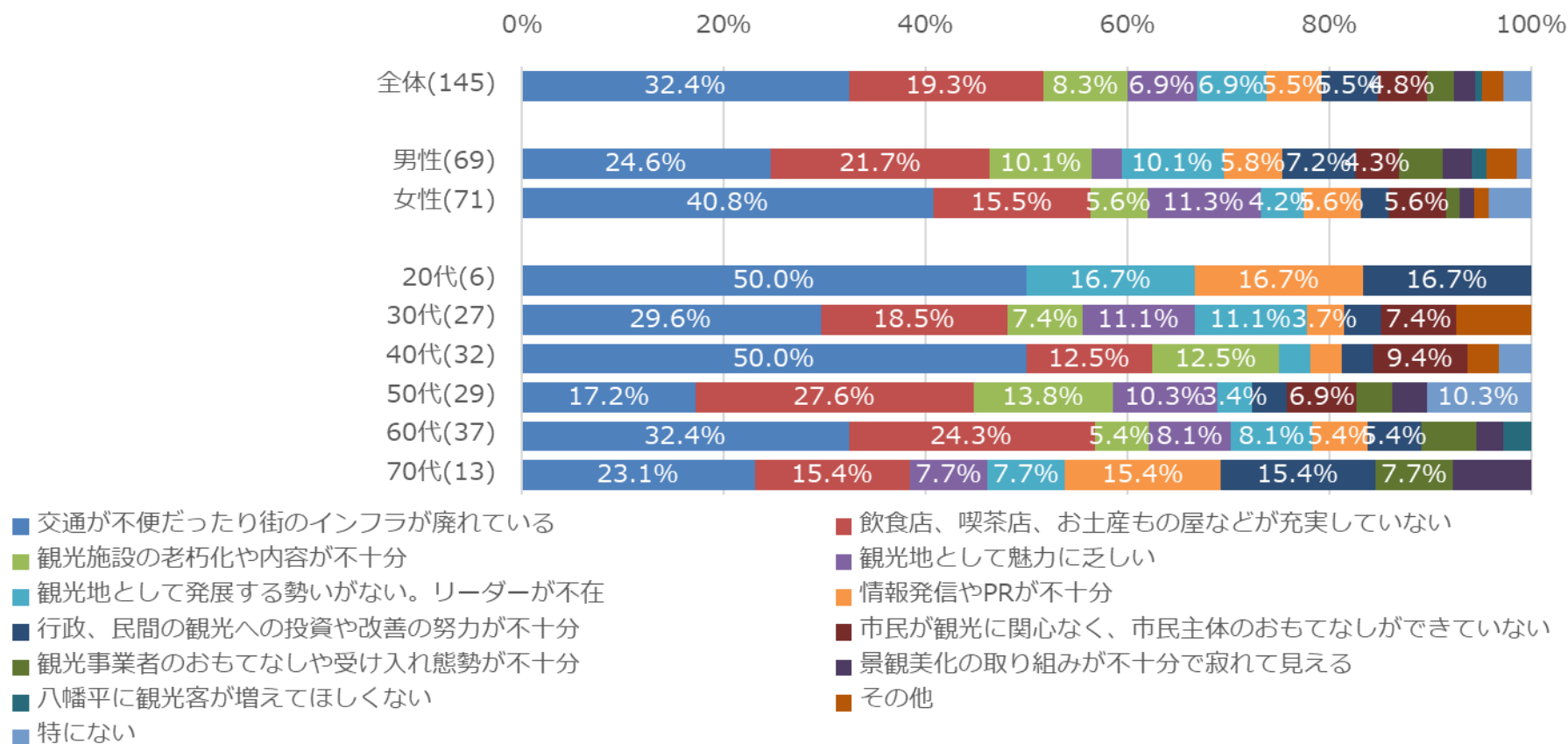
- 居住年数が2～4年と10年～19年は自然、景観の良さが圧倒的に多いが、5年～9年目は意見が割れ、特に食事のおいしさを挙げる人が多いのが特徴的
- 毎月旅行に行っている人はアクティビティを推していて、年7回以上の人も半数がアクティビティ推し。年5回以下では自然、景観の良さを推す人が半分になる。



7. 八幡平の観光をお勧めしない理由、課題（1）性別、年齢別

- 全体としては交通やインフラに対する課題認識が多く、次いで、飲食店や店舗の不足、観光施設の老朽化などを挙げる人が多い
- 男性よりも女性のほうが交通インフラに対する課題認識が強い
- 20代、40代が交通インフラの課題意識が強く、30代、50代、60代は比較的飲食店や店舗の課題意識が強い

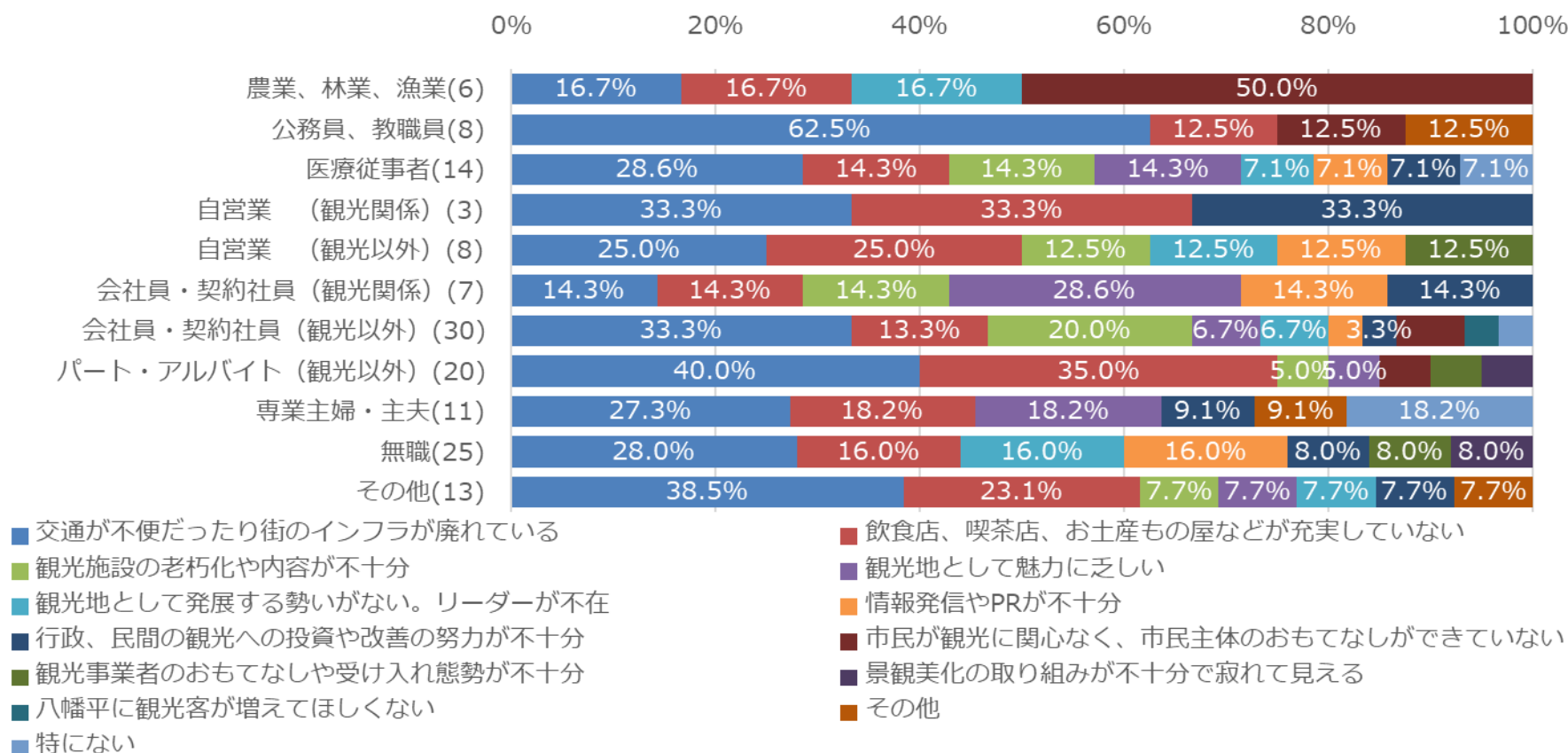
八幡平市の観光について市外のご友人等にお勧めできない点、課題



7. 八幡平の観光をお勧めしない理由、課題（2）性別、年齢別

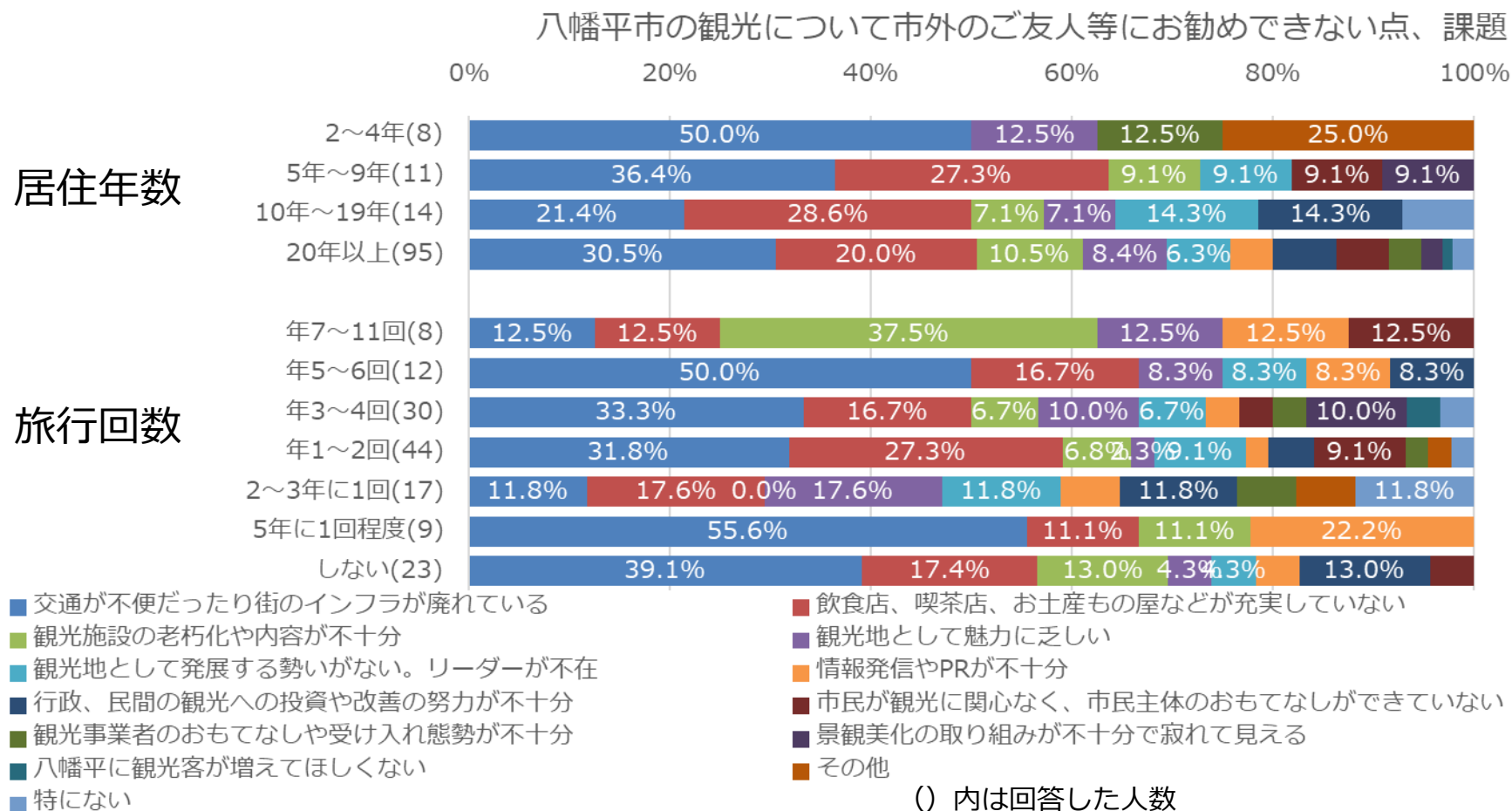
- 農林漁業者の半数は市民の無関心が観光をお勧めしない理由となっている
- 公務員や教職員は交通インフラを課題意識を持っている
- 医療従事者は多様な意見を持っている
- 観光関係の自営業者では交通インフラ、飲食店の不足、投資不足を挙げる人がいた
- 観光関係の会社員では観光地への魅力が乏しいという意見が多かった

八幡平市の観光について市外のご友人等にお勧めできない点、課題



7. 八幡平の観光をお勧めしない理由、課題（2）性別、年齢別

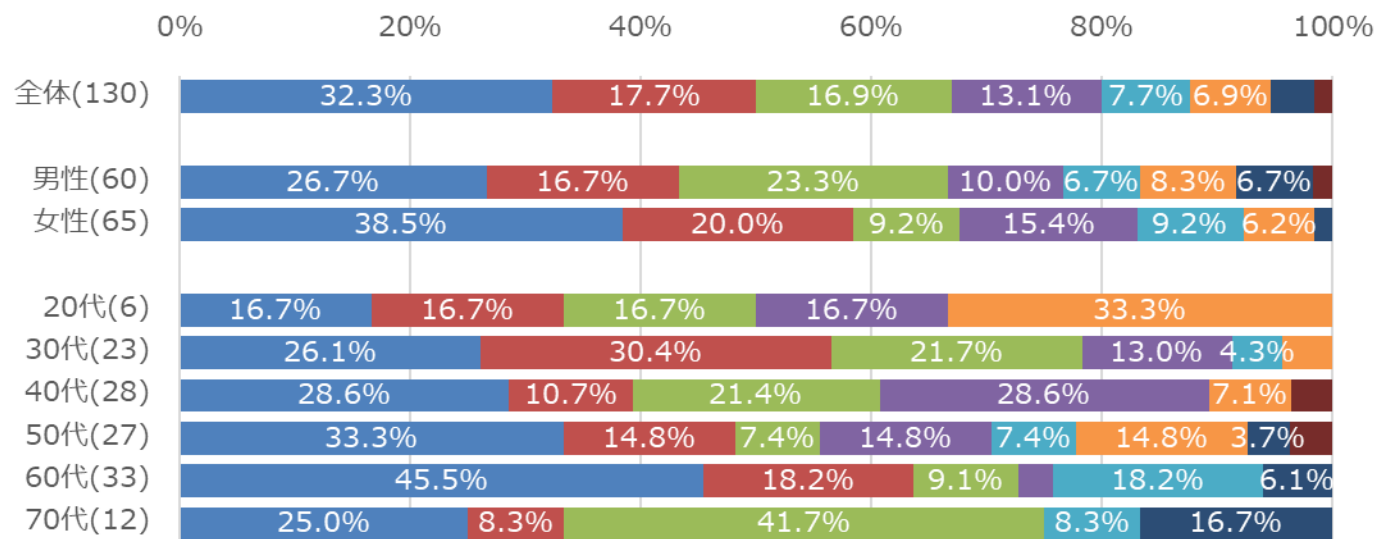
- ・ 居住年数が長くなると交通やインフラに対する課題意識がやや減少していく傾向がある
- ・ 旅行回数が7回以上の旅慣れた人には観光施設の老朽化が課題意識として強い



8. 市民による観光おもてなしの参加意向（1）性別、年齢別

- 全体では「観光客に挨拶するなど親切に接したい」が多く、次いで「観光施設や宿を利用して応援」、「知人友人にSNSで宣伝」などが続く
- ボランティアガイドなどに参加したい人は3.8%で、すでにボランティアガイドなどしている人は1.5%とごく少数にとどまる
- 男性のほうが女性よりも宣伝する意向が強く、年代では30代や70代も宣伝する意向が強い
- 今回は20代に職業として観光にかかわっている人が多かった
- 40代は観光への参加意向がもっと少なく、興味がない人が多かった

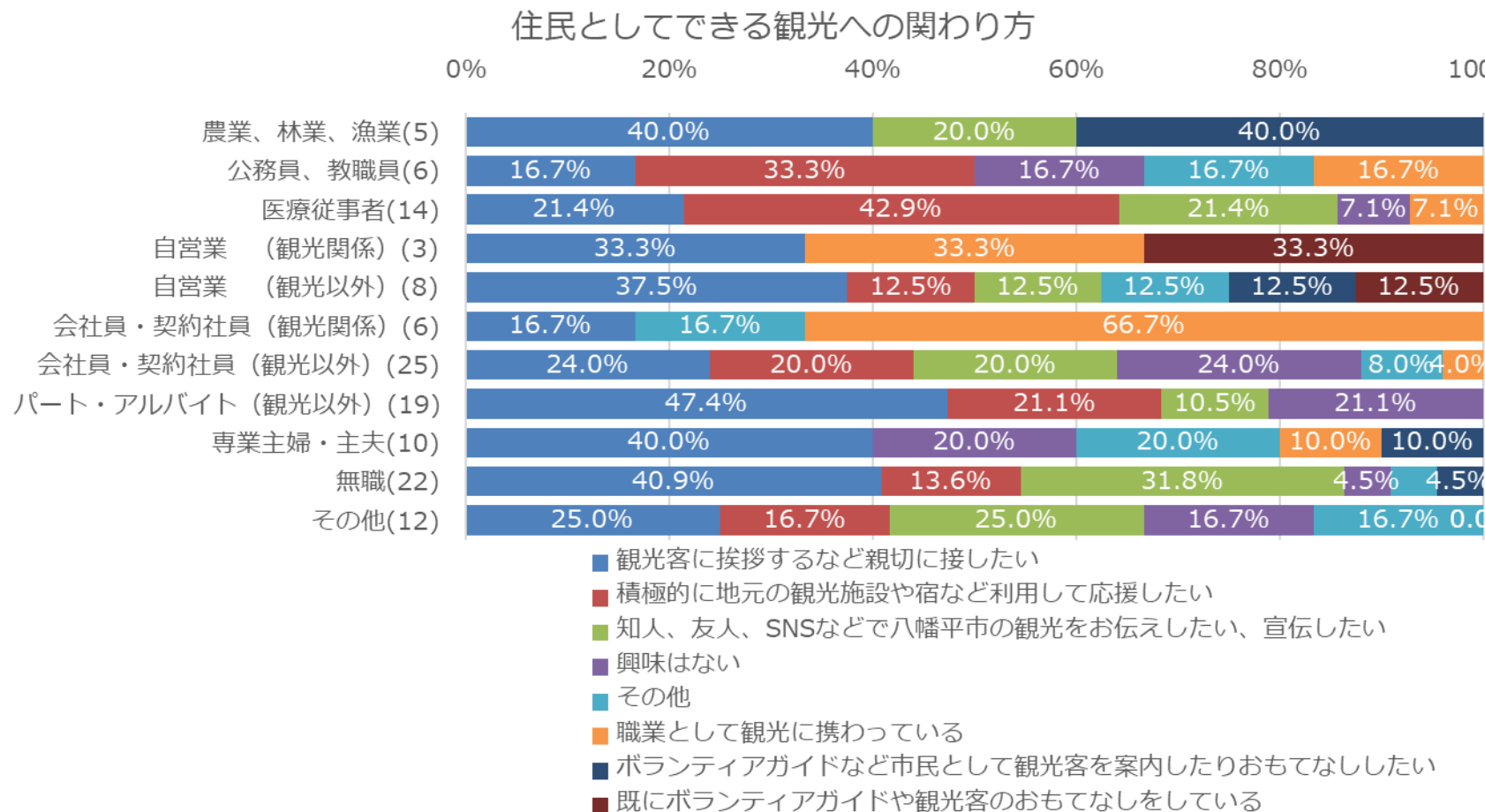
住民としてできる観光への関わり方



- 観光客に挨拶するなど親切に接したい
- 積極的に地元の観光施設や宿など利用して応援したい
- 知人、友人、SNSなどで八幡平市の観光をお伝えしたい、宣伝したい
- 興味はない
- その他
- 職業として観光に携わっている
- ボランティアガイドなど市民として観光客を案内したりおもてなししたい
- 既にボランティアガイドや観光客のおもてなしをしている

8. 市民による観光おもてなしの参加意向（2）職業別

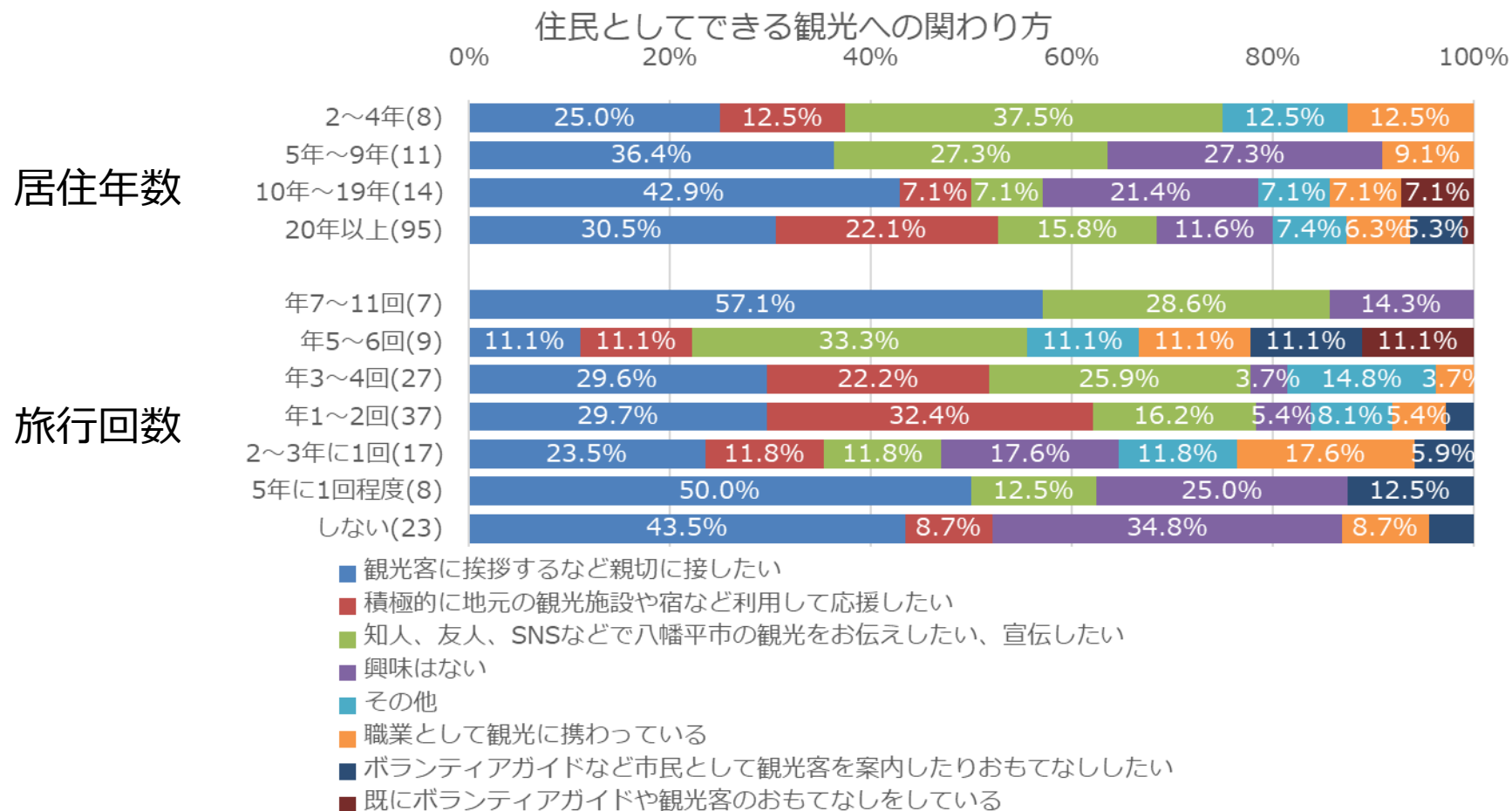
- ・ 農林漁業関係者ではボランティアガイドとして観光客を案内したりおもてなししたい人が多い
- ・ 公務員、教職員、医療従事者などは宿や観光施設利用などで応援する意向が強い
- ・ 自営業者は挨拶などが多いほか、仕事やボランティアで関わっている人も多い
- ・ 観光以外の会社員やパートアルバイトは興味がない人も多い
- ・ 専業主婦や無職は宿や観光施設の利用意向が比較的少なく、無職は宣伝する意向は強い



8. 市民による観光おもてなしの参加意向

(3) 居住年数、旅行回数別

- ・ 居住年数が浅い新しい住民ほど宣伝意向が強い。住んでまだ浅いので八幡平が新鮮で魅力を伝えたいということかもしれない
- ・ 5年目から20年くらいは興味がない層も多く、長く住むと関心がなくなるのかもしれない。20年以上住むとやや無関心層は減る
- ・ 旅行回数が年3回以上になると宣伝意向が強くなる。年7回以上の旅に積極的な層は挨拶など親切にすることに積極的であるが、そういうのが自身としてもうれしいのかもしれない
- ・ 旅行回数が少なくなると興味がない無関心層が増えていく

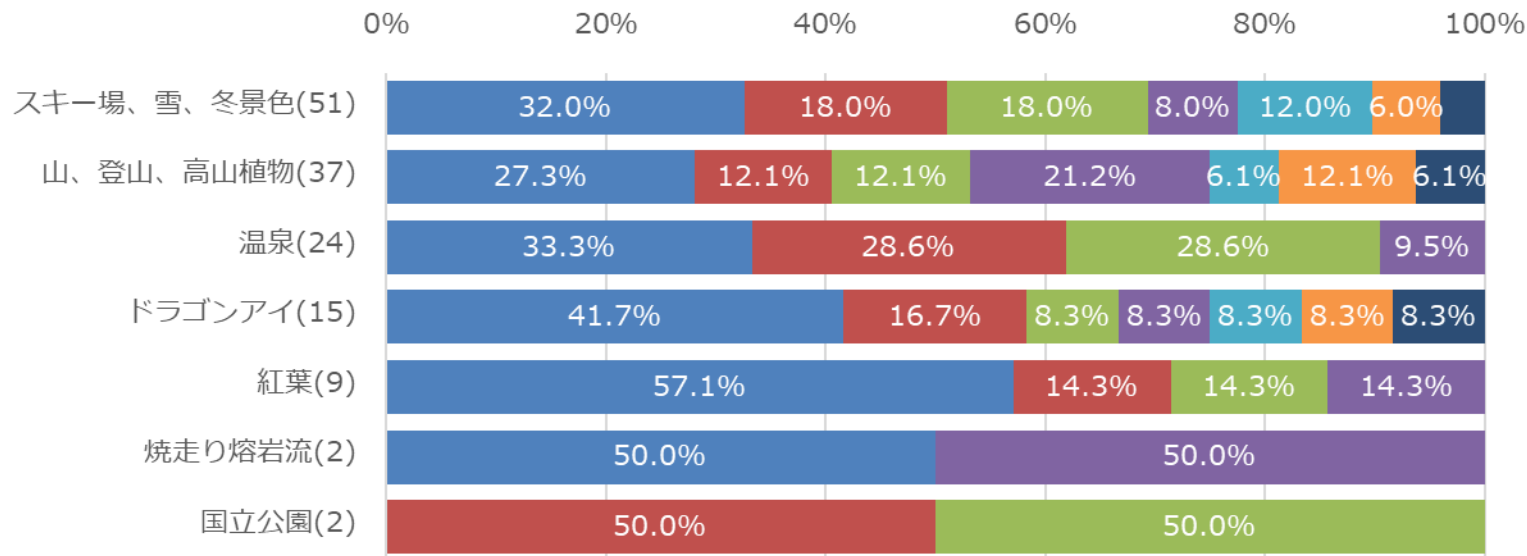


8. 市民による観光おもてなしの参加意向

(4) 思いつく観光資源別

- ・ 国立公園や温泉が八幡平の観光資源だと思っている人は宣伝をして貢献したいという意識がやや強く、比較的積極的
- ・ 山や登山、焼き走り溶岩流が思いつく層は比較的興味がない無関心層が多い

住民としてできる観光への関わり方（思いつく八幡平の観光資源別）



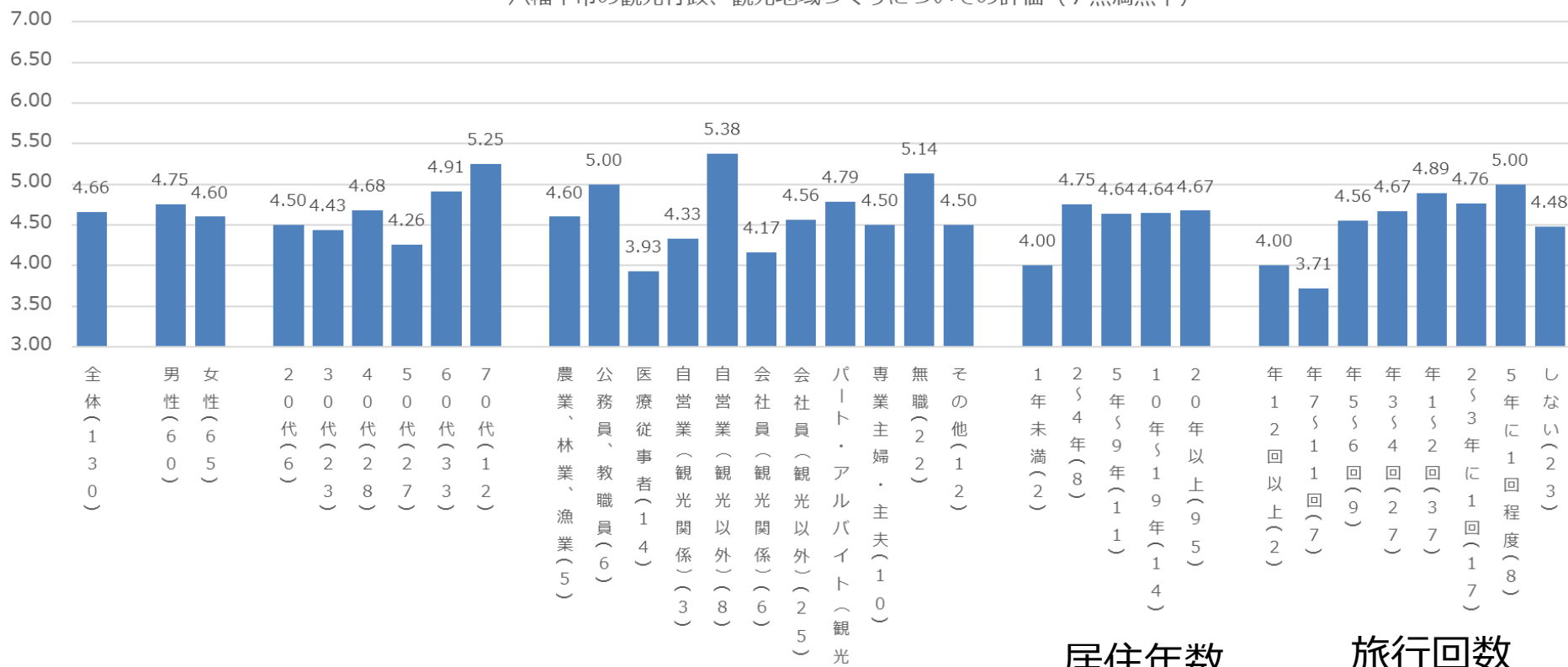
- 観光客に挨拶するなど親切に接したい
- 積極的に地元の観光施設や宿など利用して応援したい
- 知人、友人、SNSなどで八幡平市の観光をお伝えしたい、宣伝したい
- 興味はない
- その他
- 職業として観光に携わっている
- ボランティアガイドなど市民として観光客を案内したりおもてなししたい

9. 行政の観光政策に対する評価

(1) 性別、年齢、職業、居住年数、旅行回数別

- 観光行政に関する評価を7段階で聞いたところ、全体で4.66点で、「どちらでもない」と「やや評価する」の間くらいの評価になっている
- 男性のほうが行政への評価が高い
- 年齢では40代、60代、70代の評価が高く、特に高齢ほど評価が高い。若年層では行政施策自体のイメージがわからないのかもしれない
- 観光以外の自営業、無職、公務員の評価が高い
- 居住年数は1年未満が低いほかは、大きく変化はない
- 旅行回数が増える人ほど行政に対する評価が厳しくなる。旅好きほどほかの観光地を知っていて、比較してしまう傾向があるのかもしれない

八幡平市の観光行政、観光地域づくりについての評価（7点満点中）



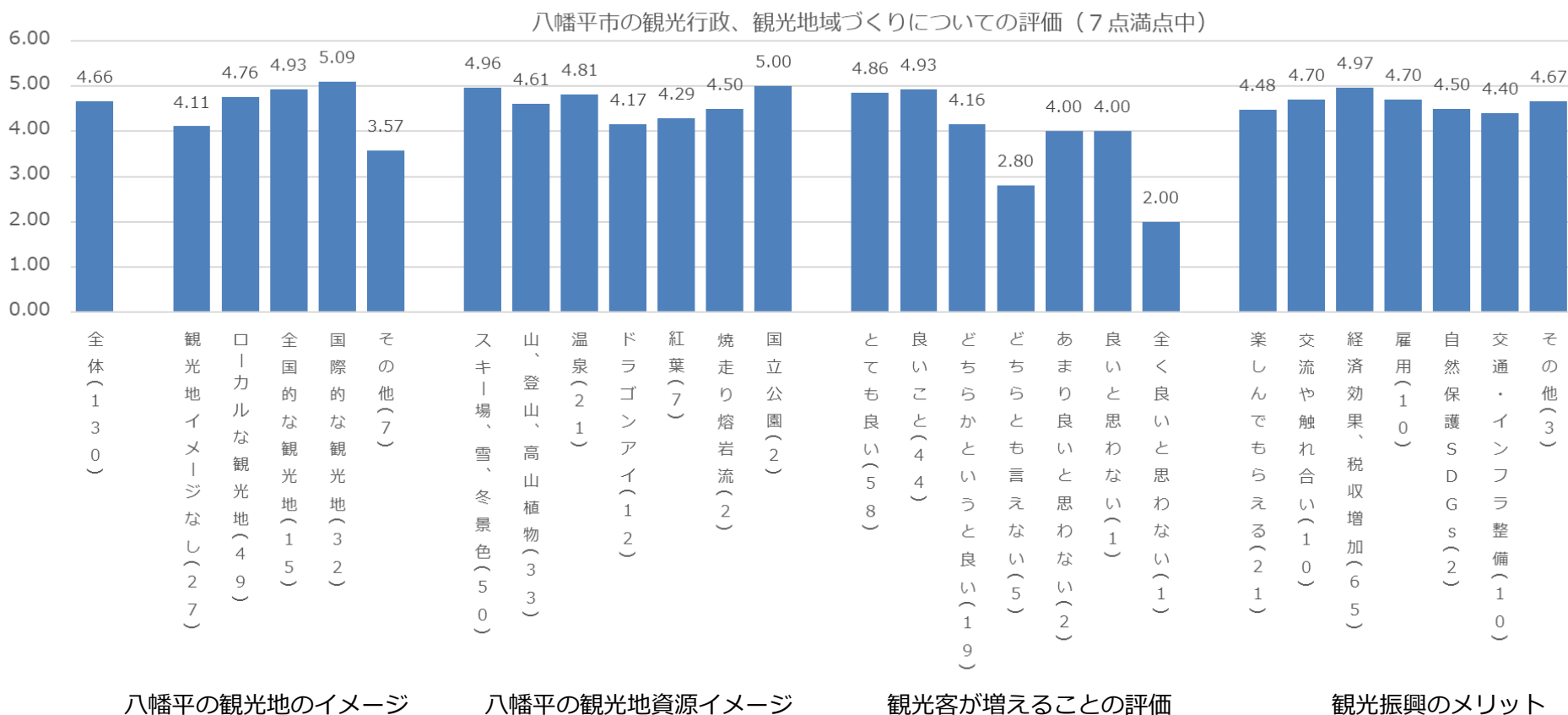
居住年数

旅行回数

9. 行政の観光政策に対する評価

(2) 観光地のイメージ、観光客が増えることの評価、推薦意向

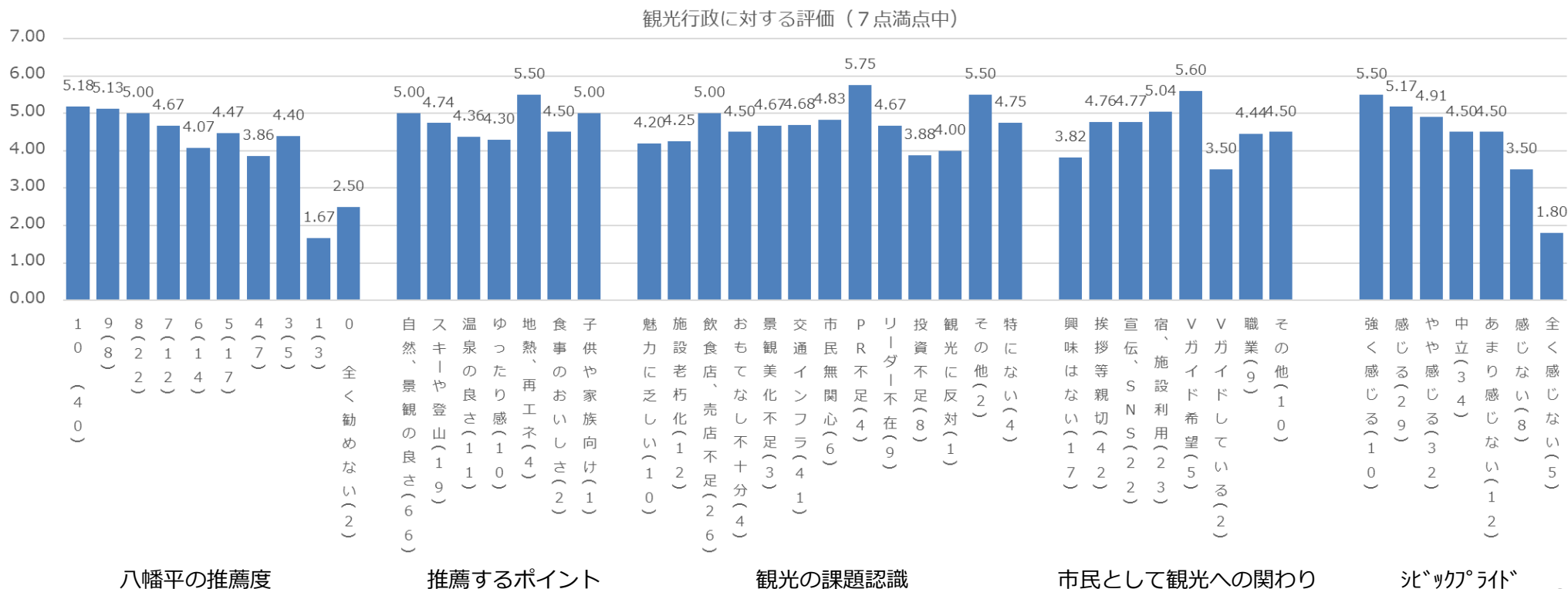
- 八幡平が全国の観光地、国際的な観光地と高いプレゼンスと認知するほど行政評価が高くなる
- 観光資源として国立公園、スキー場、温泉などを認識する人ほど行政評価が高く、ドラゴンアイをイメージする人ほど評価が低い。新しい観光資源をイメージする人は、それらの新しい観光資源のPRや扱いに問題意識を持っているのかもしれない
- 基本的には観光客が増えることをポジティブに捉えている人ほど行政の評価も高い
- 観光振興のメリットとして経済効果や税収の増加を挙げる人ほど行政の評価も高く、自然保護や交通インフラが観光振興のメリットと考えている人は行政の評価が低い。より具体的な効果をイメージする人ほど、その通りに進まない状況で行政への評価が下がるのかもしれない



9. 行政の観光政策に対する評価

(3) 推薦度、推薦ポイント、課題認識、市民としての関わり、シビックプライド

- 観光地として八幡平を評価する人ほど行政の評価が高くなる傾向がある
- サンプルは少ないものの、八幡平の観光をお勧めする際に地熱や再生可能エネルギーを挙げるような人は行政の評価も高く、八幡平の観光の良さはゆったり過ごせることや温泉としている人の評価はやや低い
- 観光の課題を投資不足や魅力の不足や施設の老朽化と認識している人の行政への評価は低く、飲食店不足やPR不足と感じている人は行政の評価は低くない
- ボランティアガイドを希望する人や宿や施設を利用して貢献しようとしている人は行政の評価が低くない。一方でボランティアガイドを実践している人の行政評価は低い
- シビックプライドが高いほど行政の評価が高い



9. 行政の観光政策に対する評価

(4) 観光政策に対するフリーアンサー ①

- 観光政策に対する課題に関してのフリーアンサーでは「交通・アクセスの問題」「施設・サービスの不足」「観光と地域還元の乖離」「情報共有と市民参加の課題（何をしているのか知らない）」「マーケティングとプロモーションの課題」「地域全体での連携や一体感、戦略性の問題」「インバウンド（中国・富裕層）への偏り」などが指摘される傾向がある
- 市の観光政策を評価している人からPRや情報発信やイベントや季節行事への充実さを実感している場合に肯定的な意見があるものの、住民が置いて行かれている意見もあった
- 市の観光政策についての評価がどちらとも言えない中立な人には、情報不足で何をしているのかわからないという回答が多いとの、交通や観光施設の不足についての言及が目立った
- 市の評価が低いグループは交通や、施設への言及だけでなく、マーケティング戦略や一体感の不足、市民への還元がないこと、観光開発の偏りなどの言及が目立った。

観光政策 に対する評価

政策に対する評価の理由

大変評価している この度ののど自慢の事です、音楽ホールが欲しい。若者の定着、高齢者が多くなる、等市民が明るく気軽に楽しめる場がないのではと思います。
(女性：70代：専業主婦・主夫：20年以上)

どちらかという
と評価している

ハチクラや観光パンフレットを見ていて、発信を頑張っているなあと思います。

以前より、PR、アピールされてると感じる(男性：60代：自営業（観光以外）：20年以上)

日本だけでなく世界にも八幡平市を発信して頂いているのでありがたい。(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

八幡平を全国に情報発信している人がいる(男性：60代：自営業（観光以外）：20年以上)

観光協会主催の季節行事が沢山あるのがいい。(男性：60代：無職：5年～9年)

山賊祭りを含めマンネリ化してるようにも思います！(男性：60代：公務員、教職員：20年以上)

見た目は、観光客誘致に熱心？(男性：60代：自営業（観光以外）：20年以上)

住民はあまりするチャンスがない(女性：60代：自営業（観光以外）：20年以上)

関係部門、関係者は広く活動し努力していると思うが、住民がそれについていけないように感じる(女性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

まだまだ探せば魅力ある観光資源があり、積極性があまり見えない。(男性：70代：無職：2～4年)

観光業も含め、市内に働く場所が増えてほしい。若者が住む、住みたくなる町にしてほしい。(女性：50代：医療従事者：20年以上)

9. 行政の観光政策に対する評価

(4) 観光政策に対するフリーアンサー ②

安比やインバウンド重視。もっと日本人が気軽に来れて、ゆっくりできるところを増やした方がいい(男性：40代：自営業 (観光関係)：5年～9年)

一部のホテルに観光客が集中している。全体に経済的(男性：70代：無職：20年以上)

外人にばかり、頼っているのが気になる(答えたくない：60代：会社員・契約社員 (観光関係)：20年以上)

観光季節やシーズンに偏っているので、通年で楽しめる要素があればいいかも。天童の道の駅が田舎だけど市内外、老若男女が集り賑わっていた。複合型が
良いかも(女性：50代：医療従事者：20年以上)

八幡平市は温泉も自然も良い所なのに、全然、観光地として、人が来ないのが、寂しいです。もう少し、イベントなど、楽しめるものがあれば良いと思いま
す。(女性：60代：専業主婦・主夫：20年以上)

景観が素晴らしいと思うが、景観を活かした工夫が不足していると感じています(男性：70代：無職：20年以上)

自然など元々あるものを観光資源と言っているだけで、力を入れているとは感じていない。(男性：30代：その他：10年～19年)

宿泊施設 飲食店が不足していると思われる(男性：60代：パート・アルバイト (観光以外)：20年以上)

食事等提供できる施設がないお土産店もない八幡平観光素通りしてお金を使っていない観光協会等は何万人きましたとか言ってるがただ素通りしてしている
だけのデータお金を使ってくれる施策が全くない行政ももっと真剣に考えるべきでは観光協会にお金を出して終わりではない八幡平に何万人きましたと言っ
てる自己満足に過ぎない(男性：60代：パート・アルバイト (観光以外)：20年以上)

八幡平の食材を活用し気軽に美味しく食べれる名物店ないと思います。 例えば八幡平サーモン、お肉類、キノコ類、野菜など使用(男性：60代：パート・
アルバイト (観光以外)：20年以上)

安比や温泉地まで行く道中、もっとわくわくする街並み、一体感がほしいな、と思う。地域住民がおもてなし感を出せる工夫がほしい。新しい建物ではなく、
古い建物を活用している感じがほしい。建物が廃れて崩れているのはさみしいし、新しい施設も痛々しい。山間の観光地に来たなあ、と思わせる街並み、田
や畑も美しいなあドライブする、何も無いけど、市民が街を大事にしている一体感がほしい。アオキやツルハやパチンコ屋ばかりではなく。雰囲気的には
平舘、安代が好き。(女性：40代：自営業 (観光以外)：10年～19年)

①自動車で来ないと不便。(男性：40代：会社員・契約社員 (観光以外)：20年以上)

交通が不便(女性：40代：無職：20年以上)

9. 行政の観光政策に対する評価

(4) 観光政策に対するフリーアンサー ③

交通が不便(女性：40代：無職：20年以上)

インバウンド対応として交通の便が悪いので花巻空港、仙台空港からのバスの直行便を走らせる。海外へインフルエンサーを使いSNSで八幡平観光資源を発信する(男性：60代：無職：20年以上)

ホームページ等の広報内容に進化がない(男性：40代：その他：2～4年)

まだまだピーアールが足りないと思います(男性：70代：無職：20年以上)

市民にも外部にも発信力が弱いかな!?(男性：60代：無職：20年以上)

従来の観光名所の他をもっとピーアールしてほしい(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

八幡平市や安比高原の読みもわかってない東京都民が多くいるから(男性：60代：その他：5年～9年)

どちらとも言えない

本気で八幡平の良さを他の都道府県に情報の発信が届いて無いと、思います!私も何回か他県に単身赴任したことがあります!まず岩手県の事から説明しなければなりません。(男性：60代：無職：20年以上)

観光行政等の働きをもっと知る機会が欲しい。上手く表現できないがうちわだけで動いて感があります。頑張っている方々が上手く連携していければもっともっと大きな力になると思います。(女性：60代：専業主婦・主夫：10年～19年)

やってる人達はいるけど周りはそうでもない(女性：40代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

活動をしらずに過ごしていたり、何かしようとしていることに対して市民から否定的な意見を聞いたりすると評価しにくいです(女性：40代：医療従事者：20年以上)

市民全体の一体感が感じられない(男性：70代：その他：20年以上)

なにをしているか知りません(女性：30代：パート・アルバイト（観光以外）：5年～9年)

なんとなく(女性：20代：無職：20年以上)

何をしているのかわからない(答えたくない：30代：無職：20年以上)

観光客を身近であまり見ないから(男性：30代：医療従事者：20年以上)

観光行政とか、どの様な取り組みを行っているのかは、一般市民(個人)把握できていません(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

市の取り組みを具体的に分かっていないから(男性：40代：無職：10年～19年)

9. 行政の観光政策に対する評価

(4) 観光政策に対するフリーアンサー

④

特に盛り上がりを感じていないため(男性：40代：パート・アルバイト（観光以外）：10年～19年)

行政と、地域づくりは別ものかな。どこが中心になり、何を八幡平市の観光の目玉にまとめるのかが必要。八幡平市も各地に負けない資源があるが、バラバラで統一感がない。是非ともキャッチコピーで行政と地域が一つになることを期待する。(男性：70代：無職：20年以上)

単発事業ばかりで、自己満足だけで終わっている。人 交通 食事 癒し 滞在 自然 など、全てがつながる仕組みの検討必要では。全てリセットして再思考しようよ。(男性：60代：無職：20年以上)

投資した物について結果が出ていない(男性：70代：無職：20年以上)

中国人や富裕層向けに傾倒してる(女性：50代：医療従事者：20年以上)

富裕層のイメージだから(女性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

PRはそれなりにしているだろうし、実際にドラゴンアイは全国的に有名になり観光客も増加している。が、秋田県と跨っている八幡平、しかもドラゴンアイは秋田県にあるにも関わらず秋田県と連携していこうという気持ちが見えない。開眼宣言くらい秋田県と連携して同じタイミングで出来ないものか。八幡平市では宣言をし、秋田県ではまだとはおかしいと思う。またPRをしておいて大渋滞だの観光公害の域に来ているだの観光協会のスタッフが言っていたが、観光客に対する想定が出来ていな過ぎではないか。何の為にPRしたのか分からない。PRすれば観光客が増えるのは道理ではないだろうか。どのような対応をする予定でいたのか問い詰めた。全体的にみるとまだまだ観光地として売り出していくには未熟だと感じる。(女性：30代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

SNSを活用しての市のPRや情報が、近隣の他市町村に比べて足りないのではと感じます。(女性：30代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

あまり積極的に外に配信している印象がない(男性：30代：医療従事者：5年～9年)

昔から知られている綺麗な場所しか力を入れていないように感じる。ネタ不足感。YouTubeなどで廃墟をまわる動画は地味ですが結構な再生回数あります。芸人さんなど各地を巡って動画を上げてます。もちろん許可取りして撮影してます。安全を確保した上で松尾鉱山にも目を向けて見てみては面白いかな？陰の部分に引かれる観光客も居る。(女性：40代：農業、林業、漁業：20年以上)

行政も地域住民も、自然や環境の豊かさが当たり前という認識で、登山と温泉・スキーなど"観光"のイメージが30年前から変わっていない(答えたくない：40代：自営業（観光関係）：10年～19年)

9. 行政の観光政策に対する評価

(4) 観光政策に対するフリーアンサー ⑤

どちらかというと評価していない

交通の便利さに欠ける 電車、バスなどの連携がない(女性：60代：専業主婦・主夫：2～4年)

レストラン、お土産を買うところが少ない(女性：50代：農業、林業、漁業：20年以上)

施設の不足、飲食店、お土産品のヒット商品が無い(女性：60代：その他：20年以上)

道の駅が魅力に欠けている。八幡平市の入口なのに目新しいものがない。食堂も小さい子のメニューが無いし軽食もない。どうにかしてほしい。(女性：30代：農業、林業、漁業：10年～19年)

住んでいる人たちが八幡平市を楽しんでいない、充実していない。観光客が来ても建物も道もインフラも廃れていて申し訳ない(女性：50代：パート・アルバイト（観光以外）：5年～9年)

観光が地域の力、発展に繋がるのか疑問 一過性のものに踊らされ、地場産業の発展には繋がらないようにおもう(男性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

外国人が増えて、市外労働者が増えて、市民の利益はなんなのかわからない。(男性：50代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

観光地以外には恩恵が少ない(男性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

コミュニケーションをとる(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

市民の声を反映できていない(男性：50代：農業、林業、漁業：20年以上)

地元の人たちにも、もっと情報が欲しい(女性：40代：その他：10年～19年)

人口が減る一方(答えたくない：30代：会社員・契約社員（観光以外）：5年～9年)

人口減少、人手不足(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

9. 行政の観光政策に対する評価

(4) 観光政策に対するフリーアンサー ⑥

観光だけで地元民へのメリットが感じられない。(男性：40代：公務員、教職員：20年以上)

観光で来る人達がお金を落とす場所がない。(女性：50代：医療従事者：20年以上)

観光を謳っている割に施設への支援や整備があまりにも無さすぎる。280年も続いた松川温泉が破産してもなお、何の動きも見られない点からそういった部分への意識が無さすぎると感じたため。(男性：20代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

評価していない

熊本はくまモン！！みたいなバズるマスコットキャラクターがいればいいのかな、八幡平市にもいるがキャラクター設定がいまいちガツンとこないし、市民である自分でも何体いるのか分からないです。あと紅葉の頃に山賊祭りの他にも結構おおきな？イベントがあったみたいですが、インスタの検索でたまたま知った感じでした。もったいないなと、、、。知っていれば行く人も増えるんでしょうが、知るきっかけ？トリガーポイント？があれば。せっかく楽しそうなイベントをやっているのに地元民も知らないってすごく勿体無いと思います！！あとどこかの県でもあったかな？地熱で野菜とか蒸せる施設も欲しい！！そしてそこにキャンプ場作るとか！お金がかかるから無理ですかね(泣)(女性：30代：医療従事者：20年以上)

山賊祭は地元の保育園児などの余興があるが、でている家族親族はみにいくけど、わざわざ他市町村や他県からみにくるだろうか。以前はご当地ヒーローショーなど、地元民以外も呼び込めるようなイベントがあった。B級ぐるめ選手権、パンフェスなど他県で賑わっているようなことをなぜできないのか。(女性：50代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

時間をもて余す(女性：30代：医療従事者：2～4年)

1.観光場所が遠い 2.観光施設が少ない 3.観光した後に立ち寄れる場所が少ない 4.観光事業者同士の連携がなくそれぞれが孤立していて各々の事業を維持していくので精一杯に見える ●観光場所/施設の他にも、市内に飲食店や遊べる所（家族、友達で立ち寄れる所）を増やして欲しい ●1つの観光場所に行ったら、次の立ち寄った場所で使える割引券など、特典を付けた連携を積極的にして欲しい（例.スキーをしたら、リフト券を見せると飲食店で割引になる）(男性：30代：その他：20年以上)

全く評価していない

近距離駅からバスやタクシーなどの配車が出来ない為、市内にお金落ちる事が無い(男性：50代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

交通環境が悪すぎる。バスにしても、電車にしても、どちらかが利便が良ければよいが、どちらも悪い。最終のバスは早いし、観光どころか、住んでいる人に優しくない市だと思う。それについて全く関心どころか、アクションも起こさない市に対して評価できるのか、逆に聞きたい。答えて欲しいです。(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

観光開発が安比地区に偏っている(女性：50代：専業主婦・主夫：5年～9年)

観光地として何をしたいのか、何を狙っているのか、さっぱり見えてこない。(女性：60代：その他：20年以上)

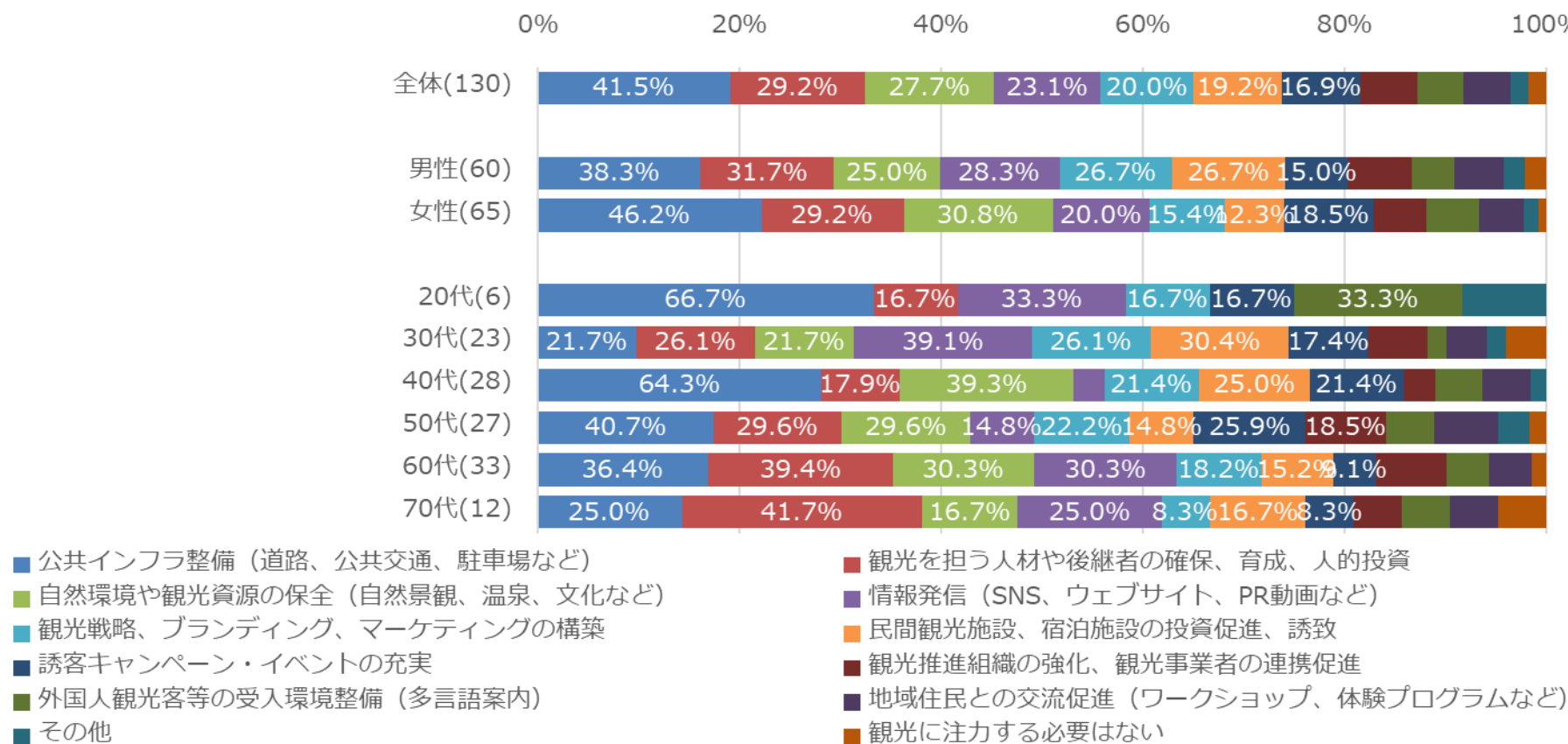
世界中で科学兵器だと認められたコロナワクチンを未だに打ってる。未だにSDGsとか馬鹿な詐欺案件を役所から発信してる。無駄な金を使って意味ない駅前開発してる。市役所の仕事がセンス無さ過ぎ。(男性：50代：自営業（観光以外）：20年以上)

10. 観光行政、観光地域づくりで注力すべき分野

(1)男女、年齢別

- 全体として、公共インフラ整備が多く、人的投資、自然保全、情報発信、マーケティング、投資促進、誘客キャンペーン・イベントなど続くが、他の設問と比べても意見が分かれている
- 女性のほうが公共インフラ投資を求める割合が高く、男性は情報発信やマーケティングの充実を求めている
- 30代を除いて若いほど公共インフラ投資を求めており、40代以降で人的投資の認識が高まっていく

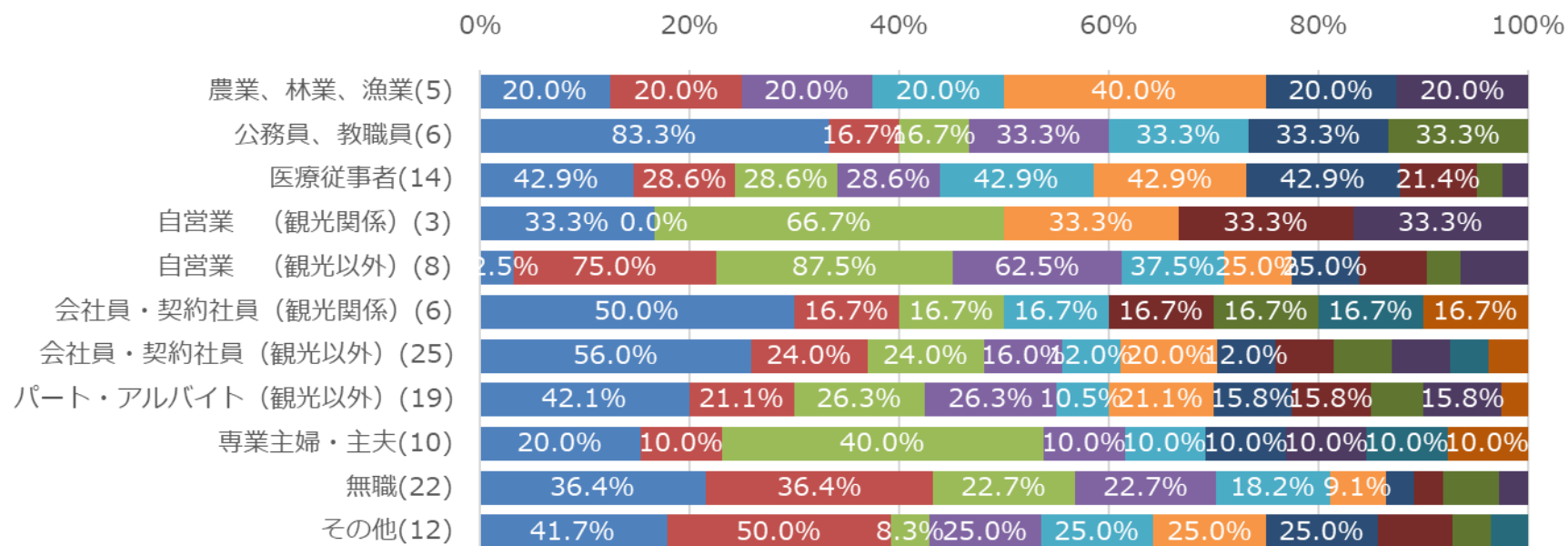
今後、八幡平の観光行政、観光地域づくりとして強く力を入れていくべき分野



10. 観光行政、観光地域づくりで注力すべき分野(2)職業別

- 農林漁業者は投資促進、公務員、教職員、会社員は公共投資、医療従事者は意見が割れ、自営業者と専業主婦は自然保全などを求めている傾向がある

今後、八幡平の観光行政、観光地域づくりとして強く力を入れていくべき分野



- 公共インフラ整備 (道路、公共交通、駐車場など)
- 自然環境や観光資源の保全 (自然景観、温泉、文化など)
- 観光戦略、ブランディング、マーケティングの構築
- 誘客キャンペーン・イベントの充実
- 外国人観光客等の受入環境整備 (多言語案内)

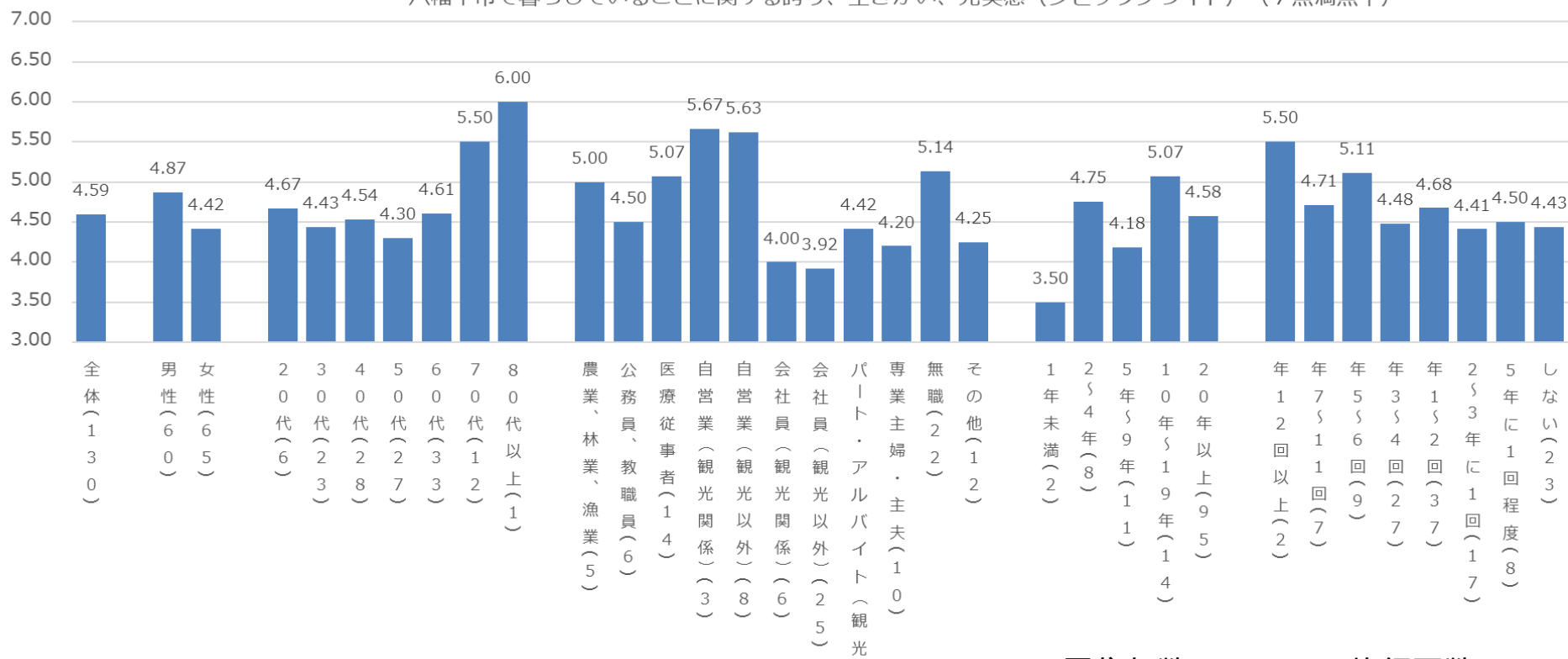
- 観光を担う人材や後継者の確保、育成、人的投資
- 情報発信 (SNS、ウェブサイト、PR動画など)
- 民間観光施設、宿泊施設の投資促進、誘致
- 観光推進組織の強化、観光事業者の連携促進
- 地域住民との交流促進 (ワークショップ、体験プログラムなど)

11. シビックプライドと観光

(1) 性別、年齢、職業、居住年数、旅行回数別

- 「八幡平市で暮らしていることに誇り、生きがい、充実感を感じていますか？」という問いについて、強く感じている（7点）、感じている（6点）、どちらかというと感じている（5点）、どちらとも言えない（4点）、どちらかというと感じていない（3点）、感じていない（2点）、全く感じていない（1点）で平均点を集計した。いわゆるシビックプライドである
- 性別では男性のほうが高い
- 年齢では60代以降はとて高くなるが50代が最も低い
- 自営業者と無職のシビックプライドは高く、次いで農林漁業関係者が高い、観光以外の関係者のシビックプライドは低い
- 居住年数では10年から19年が最も高く、次いで、2年～4年目が高い。まだ住んで1年未満だとシビックプライドが醸成されていない
- 旅行回数が年12回、年5～6回の人が高シビックプライドが高い。旅行回数が高いほどシビックプライドが高い傾向があるので、外を見に来るとするのは大事。もしくは旅好きにとって八幡平はシビックプライドが醸成しやすい要素があるのかもしれない

八幡平市で暮らしていることに関する誇り、生きがい、充実感（シビックプライド）（7点満点中）

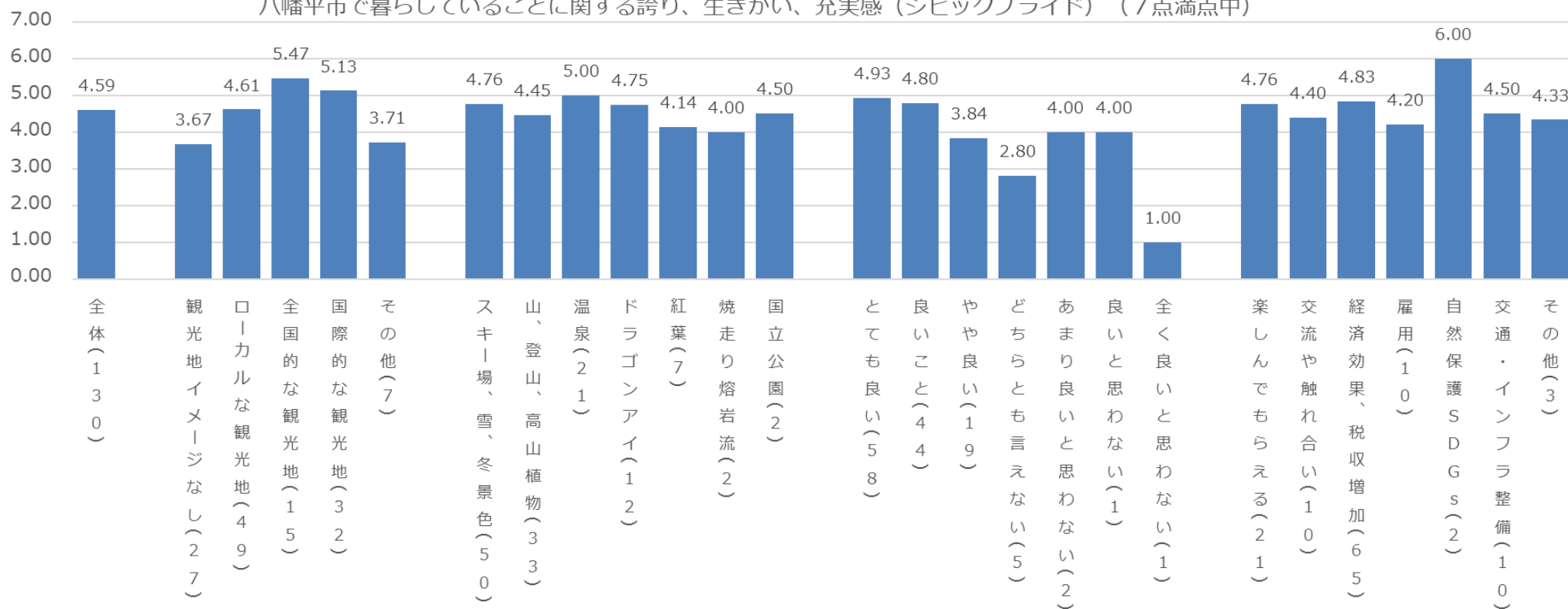


11. シビックプライドと観光

(2) 観光地のイメージ、観光資源イメージ、観光客が増えることの評価

- 八幡平を首都圏や関西からの全国区の観光地と捉えている人が最もシビックプライドが高く、国際的観光地と思っている人が続く。観光地のイメージがなかったり、ローカルな観光地と捉えている人のシビックプライドは低い
- 八幡平の観光資源を温泉と思っている人のシビックプライドは高く、次いでスキーやドラゴンアイが続く
- 観光客が増えることについて評価が高い人のシビックプライドが高い
- 八幡平の観光振興の効果を自然保護やSDGsにつながると考えている人のシビックプライドが高く、他、経済効果と考えている人も比較的高い

八幡平市で暮らしていることに関する誇り、生きがい、充実感（シビックプライド）（7点満点中）

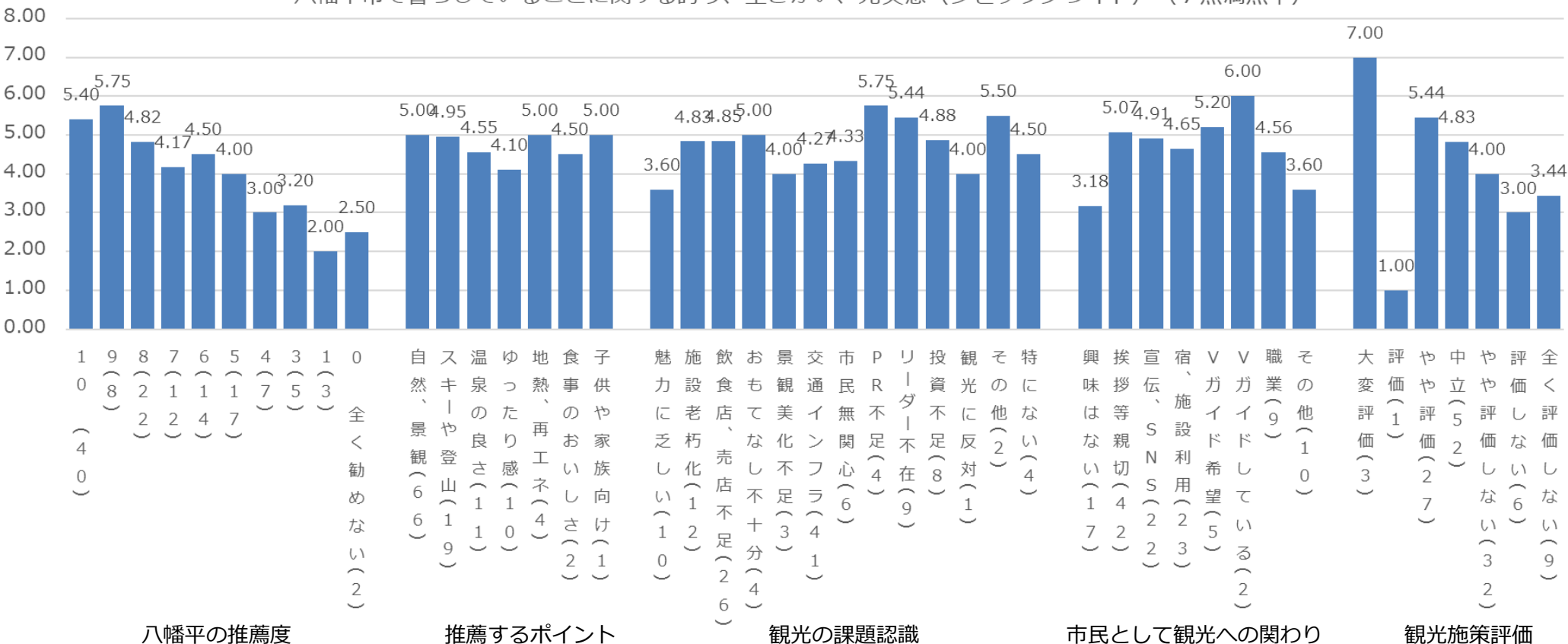


11. シビックプライドと観光

(3) 推薦度、推薦ポイント、課題認識、市民としての関わり、観光施策評価

- 観光地としての八幡平の推薦意向が高い人はシビックプライドが高い
- 推薦するポイントとして地熱や再エネを挙げる人や自然、景観、スキーや登山と考えている人のシビックプライドが高い
- 八幡平の課題をPR不足、リーダー不在と考えている人のシビックプライドが高い
- ボランティアガイドをしている人のシビックプライドは高く、やりたい人もやや高い。施設利用で応援や職業として観光にかかわっている人のシビックプライドは低い
- 基本的には観光行政の評価が高い人ほどシビックプライドが高い

八幡平市で暮らしていることに関する誇り、生きがい、充実感（シビックプライド）（7点満点中）



11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ①

- シビックプライドの感じ方として、自然環境への評価が最も多くみられ、また、観光資源の充実とそれを利用している人が高いシビックプライドに結びついているとみられる
- 静かで穏やかな環境についての肯定的な意見も多かった
- 一方で交通・アクセス、商業施設や娯楽施設への不足、雇用の問題も上げる人も多く、行政サービスの地域的な偏りや公的投資についての批判的な意見もあった
- 60代以上では自然、静かさの環境評価が多く、30代～40代では子育てや施設に対する言及が多い

シビックプライドの感じ方



シビックプライドの感じ方の理由



強く感じている

恵み豊かな自然や、住民も素朴な人が多い(男性：60代：自営業 (観光以外)：20年以上)

紅葉、桜、温泉、岩手山、八幡平など全てが素敵なので自慢したい。けれど観光客がお金を使えるワクワク感が足りないと思う。住むには最高。ただ、高齢者にとっては厳しい場所(女性：50代：医療従事者：20年以上)

自然豊かで盛岡も近いし程よく田舎な感じがいいです。(女性：50代：会社員・契約社員 (観光以外)：20年以上)

自然豊かな場所で子育てができる。(男性：30代：農業、林業、漁業：20年以上)

住みやすい(女性：30代：パート・アルバイト (観光以外)：20年以上)

充実している(男性：60代：無職：20年以上)

良いところだから(男性：40代：自営業 (観光関係)：5年～9年)

良い自然環境の中、地域社会が協力して生活している。スポーツ、イベント、お祭り、お盆等に地域交流のある(男性：70代：無職：2～4年)

老後の生活しています。四季を肌で感じる事、手に届くところに欲しいものがある、素晴らしい人間関係とても満足しています。(女性：70代：専業主婦・主夫：20年以上)

11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ②

自然が多いから(女性：20代：公務員、教職員：2～4年)

自然が豊か。店もあり買物にも困らない。(男性：50代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

自然が豊かで子育てするにはいい場所だから。(女性：40代：医療従事者：10年～19年)

自然が豊かなところだから(男性：50代：その他：20年以上)

自然と環境を魅力と時代の変化に則した可能性に惹かれて移り住んだが、地域住民との意識の差に愕然として行き詰まりを感じているから(答えたくない：40代：自営業（観光関係）：10年～19年)

自然に恵まれ、災害が少なく、のんびりしている。(男性：70代：無職：20年以上)

自然を中心とした魅力があるから(男性：40代：公務員、教職員：20年以上)

自然環境や観光の資源、農畜産物に恵まれている(男性：60代：無職：20年以上)

四季が鮮やかで災害がない(男性：70代：農業、林業、漁業：20年以上)

未就学児の子どもが2人いるが、自然を身近に感じられる環境に満足している。日帰り温泉も利用する頻度が高く、子連れにも優しく接してくれる施設の方や地域の方が多くて安心して利用できる。(女性：30代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

雄大な自然が身近に感じられるのはすごいことだと思う。(女性：30代：専業主婦・主夫：2～4年)

4号線ではないので、用のない人は通らない街。でも、みんな知っている、松川温泉、安比高原、八幡平。わざわざ来てくれている。自己紹介しても、みんな、上記のどこかには来ているので、すぐわかってくれる。ちょっと自慢。市として広がってしまい、一体感が薄れてしまった。外国人もありがたいけど、市民がわくわくするような市になりたい。(女性：40代：自営業（観光以外）：10年～19年)

温泉やスキー場の名前がよく知られているから(女性：20代：無職：20年以上)

盛岡も近いし、温泉が好きなので「今日はここ」と選べる。車で数分のところにスーパーもあって住むにはいい場所だと思います！(女性：30代：医療従事者：20年以上)

日々、忙しくあまり出掛けられないけど 時間が出来た時には、新町の朝市、博物館、漆器工芸、不動の滝、ふうせつ花、もとみや、安比の牧場を巡る日帰り旅を楽しんだり、温泉郷の隠れたお店巡りしたり、県民の森で岩手山を眺めながらランチしたり、読書したり自分なりに楽しんでいます どちらも、シメは温泉♨️ ただやっぱり県外からの観光となるとちょっと寂しいし、もう少し何か目を引くものがないとリピートは、難しいのかな?(女性：50代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

自家用車がないと不便だが、暮らすには静かできれいで良い環境だから。(男性：40代：無職：10年～19年)

日々の景観が良い。(男性：60代：無職：5年～9年)

そもそもの環境がよいから。(答えたくない：30代：無職：20年以上)

11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ③

感じている	住み慣れた出生地であるため(男性：60代：公務員、教職員：20年以上)
	生まれ育った場所だし自然災害が少なく四季がはっきりと感じられるから。(男性：60代：無職：20年以上)
	生まれ育った土地のため、愛着があるから(女性：20代：医療従事者：20年以上)
	生まれ故郷であるし景観が気に入っている…ウオーキングしていても楽しい(男性：70代：無職：20年以上)
	生活するのにストレスを感じないから(男性：60代：その他：5年～9年)
	元々住んでいて住み慣れているから(男性：30代：医療従事者：20年以上)
	八幡平市が好きだから♥(女性：50代：医療従事者：20年以上)
	八幡平市に住んで40年以上になりましたが環境の良さ住民の人柄のよさ(男性：80代以上：無職：20年以上)
	毎日、自分なりに出来る事を頑張っている、つもり かな？(男性：70代：その他：20年以上)
	なんとなく(女性：50代：パート・アルバイト（観光以外）：1年未満)
どちらかというと感じている	マア永く住んでるマンネリ考えかな(女性：60代：自営業 （観光以外）：20年以上)
	標高が高く津波に強い、霊的な波動が高い、日本トップクラスの覚醒者が多くいる、他に比べ外国人（中国人）が少ない(男性：50代：自営業 （観光以外）：20年以上)
	わからない(男性：60代：無職：20年以上)
	岩手山の麓に住んでいる。安比高原にもすぐ行ける。(女性：60代：無職：20年以上)
	四季がちゃんとあるのと、以外に東京にちかい(男性：40代：その他：2～4年)
	自然が好きだから(女性：50代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)
	自然が多いのでゆったり暮らせる(男性：70代：無職：20年以上)
	自然が豊かなのが気に入って、ここに移ってきたから(男性：60代：自営業 （観光以外）：20年以上)
	自然が豊かな生活ができるから。(男性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)
	自然豊かで近くに温泉もスキー場もあり私生活が豊かになっていると思う。(男性：40代：医療従事者：20年以上)
	自然豊かな場所で子育てができるから。(女性：30代：自営業 （観光以外）：2～4年)
	冬はスキー、夏はバイキング、庭いじりと まあまあ充実している(男性：60代：無職：2～4年)
	のどかで住みやすいと思うし、僻地のようできて車があれば秋田二戸盛岡にも行きやすい。(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：10年～19年)
	盛岡市に隣接しアクセスが良い。のどかな暮らし。(女性：60代：その他：20年以上)
	産直や道の駅を活用したり子供たちは新体などたいいけを活用しているから(女性：40代：その他：10年～19年)
住みやすい(女性：40代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)	
住み続けたいと思うから。(女性：40代：パート・アルバイト（観光以外）：10年～19年)	

11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ④

どちらかというと感じている

住めば都(女性：30代：パート・アルバイト（観光以外）：5年～9年)

住んでいて生活が充実している(男性：30代：医療従事者：5年～9年)

住心地がいいと思うから(女性：40代：専業主婦・主夫：10年～19年)

静かで住みやすい(男性：40代：パート・アルバイト（観光以外）：10年～19年)

誇りまでいかないが充実感を感じている。仕事が忙しいが余暇を大切にしている。個よりは集団の活動が好きなのでもっと市全体に、勢いがあるとモチベーションが上がるとおもう(女性：50代：医療従事者：20年以上)

生まれたまちだから。(男性：70代：無職：20年以上)

生まれ育ったところなので(男性：50代：医療従事者：20年以上)

生まれ育った故郷であり、海外で暮らしていた経験者(男性：60代：自営業（観光以外）：20年以上)

生まれ育った所だけど、私は岩手県内の転勤族だったので、八幡平市の住民気質は穏やかなほうだと思います。(男性：70代：無職：20年以上)

田舎には田舎の良さがあり、全国一律の観光地づくりではない取り組みが必要と感じている(男性：60代：無職：20年以上)

名前は有名だから(女性：50代：専業主婦・主夫：10年～19年)

良い街だから(女性：30代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

悪くはないから(女性：20代：医療従事者：20年以上)

観光施設がある観光ばかり言ってる地域の補助がお金がないと削られて暮らしにくくなっている観光には予算をたくさん出している費用対効果を検証すべきゴミも有料化等議会も機能していない(男性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

大更駅周りが寂しい 観光バスで直接訪れるも良いが 列車を使って観光するのは難しい(男性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

仕事はサービス業ですが、高齢化に伴いお客様の減少で生活が厳しくなっている(女性：70代：自営業（観光以外）：20年以上)

生活するだけであれば、施設などは足りているが、長く住むと考えた場合不安なところがある。(男性：30代：会社員・契約社員（観光以外）：5年～9年)

特に理由はない(女性：50代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ⑤

住民税などは安いので生活はしやすいが、生活する上で自動車が無くてもイイような環境では無い。(男性：50代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

年々、高齢化してくると、町に遠い地域の人買い物、交通が不便になってきます。(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

子供を連れて行けるような施設が少ない(女性：30代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

紹介できるのが、全て山、川の自然だけ。結局は、家族みんな観光するにも遊ぶにも、山に行かないと行けない。車で何十分、何時間と移動しないと行けない環境の敷居が高すぎる。市内の街中にももっとあってもいいのでは？(男性：30代：その他：20年以上)

自然以外に良いところがほとんどなく、子育てするにも公園や遊ぶ場所、病院も皮膚科や耳鼻科がなく不便を感じる(答えたくない：40代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

農業については誇りを持っています。その他については、娯楽又は大型商業施設が無い、飲食店の減少、ドラッグストアばかりありすぎる。魅力を発信するネタが無い。(女性：40代：農業、林業、漁業：20年以上)

飲食店が少ない。もっとあってもいい。(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

各種店舗が西根側によっている(男性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

どちらとも言えない文化施設が少なく楽しめない。除雪の苦勞が多い。(男性：70代：無職：20年以上)

大きなスーパーなどがあるのは便利だが、個人の商店が商売をするのが難しくなっているから(女性：40代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

まず地道な情報の発信が必要です!色んな駅空港フェリーターミナルなどポスターなど勿論SNSも必要です!(男性：60代：無職：20年以上)

人が、全然集まるようなイベントが少ない。(女性：60代：専業主婦・主夫：20年以上)

宿泊施設、飲食店、農協、行政が協力していない(女性：50代：農業、林業、漁業：20年以上)

八幡平市としては良い方向に行っているのだと思う。しかし旧安代町、特に田山地区、館市地区にはなんの恩恵も無いように感じている。館市地区に至っては市道すら直して貰えず穴だらけだ。人口が違うと言われればそれまでだが見捨てられている様に思われても仕方が無い。旧松尾村、旧西根町が発展すれば良いという感じが伝わってくる。そんな市にどんな誇りを持てば良いのか。(女性：30代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

観光に力を入れすぎても、住んでいる人の今後を考えると不安(女性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

観光等も大事だが住んでいる人達が快適に住むのも考えてほしい(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

最近の市長をはじめ、行政対応は市民を向いていない。(男性：50代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)

人口の減少(男性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)

変化が無さすぎ(男性：70代：無職：20年以上)

もう少し活気が欲しい(男性：30代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

自分のことで精一杯(男性：50代：農業、林業、漁業：20年以上)

賃金が低い(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ⑥

どちらとも言えない	賃金が低い(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)
	八幡平市に住んで年数がまだ浅いため(女性：30代：その他：5年～9年)
	どちらとも言えないから(男性：30代：公務員、教職員：20年以上)
	悪くはない(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)
	穏やかに暮らせる良い町だとは思いますが、それが誇りと感じるかと言えば、何とも言えない(女性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)
	生きがいは感じていない(女性：20代：その他：20年以上)
	静かな住環境があるもののそれ以外は不便(男性：50代：会社員・契約社員（観光関係）：10年～19年)
	特に理由はありませんがここにいて生活して行くものだと思うので(女性：40代：医療従事者：20年以上)
	産まれてからずっと住んでるからそんな事意識すらしていない(男性：50代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)
	生まれ育った故郷だから定住する予定だが、市として魅力が無い(女性：30代：農業、林業、漁業：10年～19年)
どちらかというと感じていない	特に感じない(女性：50代：医療従事者：20年以上)
	八幡平市って？よくわからない(男性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)
	交通や買い物等、生活する上で不便を感じるため。(女性：30代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)
	公共交通機関の不便さにつきます(女性：60代：専業主婦・主夫：2～4年)
	車が無いため 買い物など移動が大変です(女性：40代：無職：20年以上)
	年と共に居なか暮らしは辛くなってきている 特にこうつうのが辛い(女性：60代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)
	家族の生活のために仕事重視の生活のため、中々八幡平市の魅力的な場所に足を運べていない(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：5年～9年)
	雇用の場も少ないし、子育てするには厳しい(答えたくない：30代：パート・アルバイト（観光以外）：20年以上)
	職場不足(答えたくない：60代：会社員・契約社員（観光関係）：20年以上)
	若い人達が、生き生きしていない。生活するには静かで良い場所だが、10代20代は地元で無く、皆、盛岡方面へ学び・職場を求めており 日中は過疎になっている(男性：60代：無職：20年以上)
	生活としては生きづらい(男性：60代：無職：20年以上)
	楽しみが無い(男性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)
	活気が足りない(答えたくない：50代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)
	合併したことで地元への愛着が薄くなった(男性：50代：公務員、教職員：20年以上)
	住んでいる人が困っていても、耳を傾けない市に対し魅力を全く感じない。市民に優しくない行政。(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

11. シビックプライドと観光

(4) シビックプライドの感じ方の理由 ⑦

感じ
てい
ない

家父長制がいまだに残っていて、男女ともに男尊女卑の考え方をする人が多い。プライバシーも個人の選択も尊重されない。女性は生きにくい。私もできることなら転出したいが夫の親の世話のために仕方なく住んでいる。(女性：50代：専業主婦・主夫：5年～9年)

保守的だから(女性：60代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

雇用が少ない、公共交通機関が不便(女性：40代：その他：20年以上)

道路がガタガタ(女性：50代：専業主婦・主夫：20年以上)

盛岡まで行かないと何も出来ない(答えたくない：30代：会社員・契約社員（観光以外）：5年～9年)

市政を布いているが、活気も無く地域間での交流も少なくバラバラで一体感が感じられない。公共施設なども将来を考えて建てていると思えない。将来的な展望が欠如していると感じる。長野県小布施町の様に地域一体での取り組みをする考えを持って欲しい。人口一万人の町に年間十一万人が来る、そんな町にして欲しい。(女性：60代：その他：20年以上)

大卒者が働きたくなるような街ではないから。人口がどんどん減っているし、逆に市に残っている人間は、外に進学・就職できなかった人の集まりになっている。(男性：30代：その他：10年～19年)

寂れていく田舎としか思えない。(男性：40代：公務員、教職員：20年以上)

もっとSNSを使って情報を送って欲しい(女性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：)

観光における発信が少ない。ここしか無いという凝縮した観光の拠点と広がり様々な媒体を活用し発信してもらいたい。八幡平市で有名な観光大使を創出してもらいたい。(男性：60代：無職：)

県外へのPRが少ない。(男性：70代：無職：)

バスや電車などがあまりなく、車がないと行きづらい。(女性：30代：公務員、教職員：)

安比高原へよく行くのですが電車が少ない、バスもあるのは知っているが電車でのんびり行きたい時は新幹線と花輪線の乗り継ぎの時間をよく確認しないといけない。が結局車で行く。(女性：40代：パート・アルバイト（観光以外）：)

交通手段の選択肢を増やして周知(男性：40代：会社員・契約社員（観光以外）：)

公共交通機関やターミナル駅からの交通の便がもっと便利になると良い。エアタクシーなどあっても面白い。(男性：30代：会社員・契約社員（観光以外）：)

八幡平温泉郷(旧松尾村金沢)は安比地区に比べて冬期アクセスが良好と考えますが、ロイヤルホテル閉館跡地リノベーション計画が無い等、観光資源を埋没させてしまっていること。(男性：50代：会社員・契約社員（観光以外）：)

ほかの市町村にあるような屋外施設や屋内施設がない(男性：30代：公務員、教職員：)

観光しても飲食店が少ない(女性：60代：専業主婦・主夫：)

施設が少ない(男性：50代：会社員・契約社員（観光以外）：)

特になにか優遇されているという感じが無い(女性：50代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

まずは人口減少へお金を使うべきところに、駅前の整備にお金を使いすぎていると感じたため。いくら建物を建てたところで人が来なければ意味がないのでは。(男性：20代：会社員・契約社員（観光以外）：20年以上)

楽しいことがない(女性：30代：医療従事者：2～4年)

魅了を感じない(答えたくない：30代：パート・アルバイト（観光関係）：20年以上)

活気にかけるさ(男性：60代：無職：)

明日行こう！と思える場所がない。 人が少ないのに干渉されやすい。住みづらい。(女性：50代：パート・アルバイト（観光以外）：5年～9年)

高齢化や市外への勤務などで、市民が自分のことだけで精一杯(男性：40代：農業、林業、漁業：)

nai(女性：50代：専業主婦・主夫：1年未満)

全
く
感
じ
て
い
ない

12. まとめ

■ まとめ

- 八幡平市の市民のうち観光地と認識していない人が約2割、ローカル観光地と捉えている人が4割弱で、実際にインバウンドや全国から観光客が多く訪れている点などは認識されていない
- 温泉、登山、スキーなどの観光資源は市民にも認知されており、活動経験としても温泉が最も多い
- 若年層や移住者層は観光活動の参加率が相対的に低く、また女性の観光参加率も男性と比較して低い傾向がある
- 年齢が高くなるにつれて、観光客の増加への評価、観光行政への評価、推薦意向（NPS）、シビックプライドのいずれも前向きな傾向が見られた
- ボランティアガイド等への参加意向は非常に少数にとどまり、「挨拶」「SNS発信」などのライトな関与の意欲が比較的多かつ
- NPSが高いのは60代以上の高齢層、温泉などの観光資源をよく利用している人、市民ガイドやSNS発信などに関与意欲のある層。NPSが低いのは20代・30代の若年層、観光業に実際に従事している自営業者や関係者で、行政に対する期待とのギャップが要因と考えられる
- 観光行政への評価が高いのは高齢層、温泉や登山など観光活動を複数体験している層。評価が低いのは観光業関係者やボランティア実践者、実務者視点で課題を強く感じている可能性がある。
- シビックプライド（地域誇り）に関して、高いのは60代以上の市民や旅行頻度が高い層、移住者層。低いのは若年層や観光に関心が薄い層。観光活動が少ないと誇りも育ちにくい傾向。また、全国的な観光地、国際的な観光地と認識するとシビックプライドが高まる傾向がある
- 市民は交通を含むインフラが整っていないこと、飲食店やショップが少ないこと、宿や観光施設の老朽化を八幡平の課題と捉えており、求める施策でもインフラ整備が最も高かった。しかしながら続いて人的投資を行うことや環境保全、情報発信なども重要な施策として求めている